

持続可能で発展性のあるまちづくりをめざして

第2期福知山市公共施設マネジメント 前期実施計画(R7～R11)



令和7年3月 策定
福 知 山 市

目 次

1 はじめに	1
(1) 公共施設マネジメントの背景	1
(2) 本市における公共施設マネジメントの考え方	2
2 公共施設マネジメントの体系と位置づけ	3
(1) 本市の基本計画・実施計画・個別施設計画の関係	3
(2) 第2期前期実施計画の位置づけ	3
(3) 第2期前期実施計画の目的	3
3 公共施設マネジメントの目標	4
(1) 公共施設マネジメントの目標	4
(2) 取組の評価方法	5
4 進捗管理	6
(1) 公共施設マネジメントの進捗管理	6
(2) 今後の推進スケジュール	6
5 個別施設の再配置方針	7
(1) 公共施設再配置実施計画の枠組み	7
(2) 公共施設の再配置方針の区分	11
(3) 施設機能別再配置実施計画	13
1 公用施設	14
2 教育施設	17
3 公営住宅	20
4 市民文化系施設	22
5 医療施設	26
6 子育て支援施設	27
7 保健・福祉施設	30
8 産業系施設	32
9 観光・宿泊(研修)施設	34
10 生涯学習系施設	36
11 その他	40
第1期基本計画策定後の新設・所管施設一覧	41
<参考1>具体的な取組	42
(1) エリアマネジメントの概要とこれまでの取組	42
(2) 大規模遊休資産の利活用等の取組	46
(3) 長寿命化(計画策定・改修状況)の取組	49
(4) 脱炭素への取組	50
(5) 本市の取組に関する評価	50
<参考2>第1期後期実施計画の実績	51

1 はじめに

（本計画を策定した背景並びに本市における公共施設マネジメントの必要性及び目的について確認します。）

（1）公共施設マネジメントの背景

全国的に高度経済成長期に建設された公共施設等が老朽化し、これらが一斉に更新時期を迎えようとしているなか、平成 24 年 12 月の笹子トンネル事故(山梨県大月市)を契機に、公共施設等の老朽化対策は国、地方公共団体、民間事業者をあげた喫緊の課題として強く認識されるようになりました。

他方で、少子高齢化と人口減少、災害対策、地方分権や公民連携を通じた自治体改革の必要性など社会や地域のあり方が変化してきており、これに伴い公共施設の必要性も変化してきています。

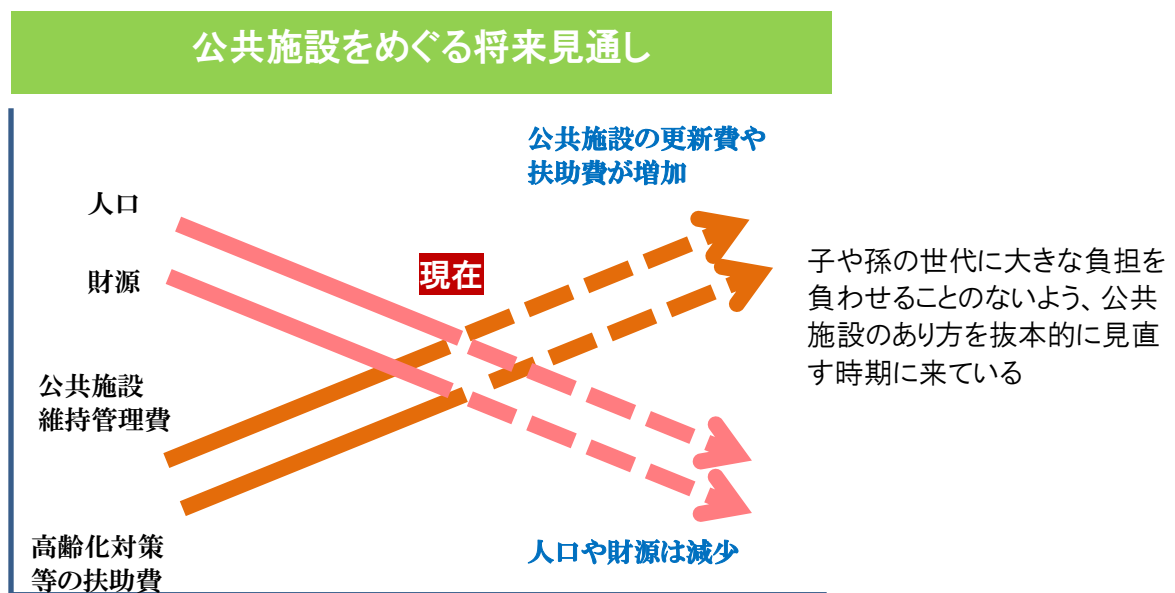
そこで、国はこれらの問題に対応していくため平成 25 年 11 月「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各省庁及び地方自治体は「インフラ長寿命化基本計画」に基づく行動計画(市町村においては「公共施設等総合管理計画」)の策定が求められました。

これらの問題は本市においても例外ではなく、老朽化の問題を契機に、現在の社会状況にあった施設のあり方について検討し、取り組んでいかななくてはなりません。

今後、持続可能な行政サービスを提供していくためには、行政が担うべきサービスと民間等に委ねるべきサービスなどを仕分けして、限られた財源の使い道を選択し、集中していく必要があります。

特に、その維持に大規模な費用がかかる公共施設について、現在及び将来の市民にとって本当に必要なものは何かをひとつずつしっかりと見定めることが必要となっています。

本市の公共施設が、将来にわたって本市の身の丈に合った、本当に必要なものとなるよう、「持続可能」、「全体最適」の観点から適切に選択と集中を行い、長寿命化や財源確保などの観点も踏まえ、公共施設マネジメントを推進していくことが重要です。



(2) 本市における公共施設マネジメントの考え方

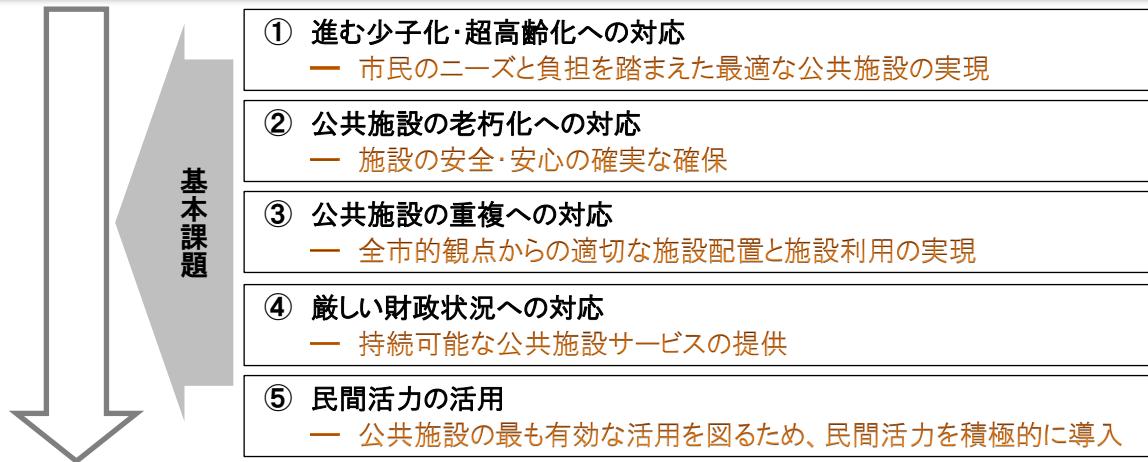
このような背景のもとで、本市では、公共施設のあり方を抜本的に見直すため、平成 25 年度に詳しい検討に着手し、平成 26 年 9 月には「福知山市公共施設マネジメント基本方針」を策定しました。

さらに、平成 27 年 3 月には「福知山市公共施設マネジメント基本計画」、平成 27 年 10 月には「福知山市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、全体的な取組の基本的な方向と目標を定めると同時に、施設機能別の再配置方針及び目標を定め、取組を進めてきました。

■福知山市公共施設マネジメントの考え方（「第 2 期福知山市公共施設マネジメント基本計画」より）

基本姿勢

過去の取組を踏まえ、現在の暮らしを守り、未来の世代に責任を持つ



公共施設再配置の基本的な考え方

① 余剰施設の解消

- 公共施設の余剰の解消
- 新たな公共施設の建設は、既存施設のスクラップ＆ビルドを条件に

② 施設重視から機能重視への転換

- 公共サービス内容の吟味と民間サービスの活用
- 「1 機能・1 施設」の縦割型サービスからの脱却
- フルセット型配置から地域特性に応じた配置へ

③ 市民協働による再配置

- 補完性の原理
- 市民の主体的な地域経営を行政がバックアップするという役割分担を確立

④ 民間事業者への貸付

- 貸付収入による財源確保
- 維持管理費の削減
- 集客や雇用の創出などによる地域の賑わい創出

⑤ 脱炭素化の推進

- 省エネルギー設備の導入
- 「まちづくり構想 福知山」や「福知山市エネルギー・環境基本計画」等で示されているビジョンに基づいた、更なる公共施設マネジメントの推進

持続可能で発展性のあるまちづくりを目指す

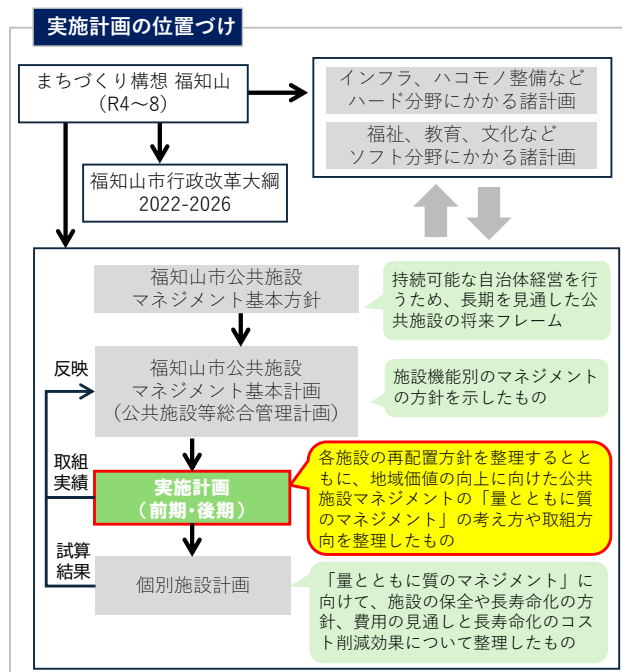
2 公共施設マネジメントの体系と位置づけ

（令和 7 年度から新たにスタートする第 2 期公共施設マネジメント前期実施計画の位置づけや目的について確認します。）

（1）本市の基本計画・実施計画・個別施設計画の関係

実施計画は、国が策定を求めている公共施設等総合管理計画（本市の公共施設マネジメント基本計画）と個別施設計画（長寿命化計画）をつなぐ計画となっています。

今後は、右図のとおり、分野別の個別施設計画について見直しを進めていきます。



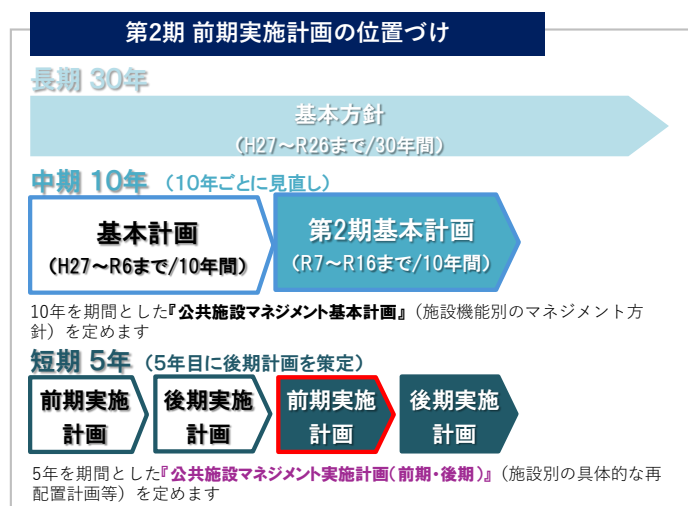
（2）第 2 期前期実施計画の位置づけ

本計画は、「公共施設マネジメント基本方針」（平成 26 年 9 月策定）のもと、「第 2 期公共施設マネジメント基本計画」（令和 7 年 3 月策定）の前期 5 年間の取組について、第 1 期後期実施計画期間（令和 2～6 年度）における実績と課題を踏まえた具体的な取組及びスケジュールを策定しています。

（3）第 2 期前期実施計画の目的

第 2 期前期実施計画では、地域事情を踏まえ、公共施設を配置の偏りや機能の類似性など 8 つの視点で評価し、再度各施設の再配置方針の区分を整理し、削減だけでなく存続する施設についても長寿命化等、今後の整備計画を策定します。

また、総量削減による財政効果だけでなく、貸付や脱炭素化への取り組みについても評価し、公共施設マネジメント全体の進捗の「見える化」を図ることを目的としています。



3 公共施設マネジメントの目標

第1期基本計画期間の削減実績を踏まえて、第2期前期実施計画における具体的な取組について整理します。

(1) 公共施設マネジメントの目標

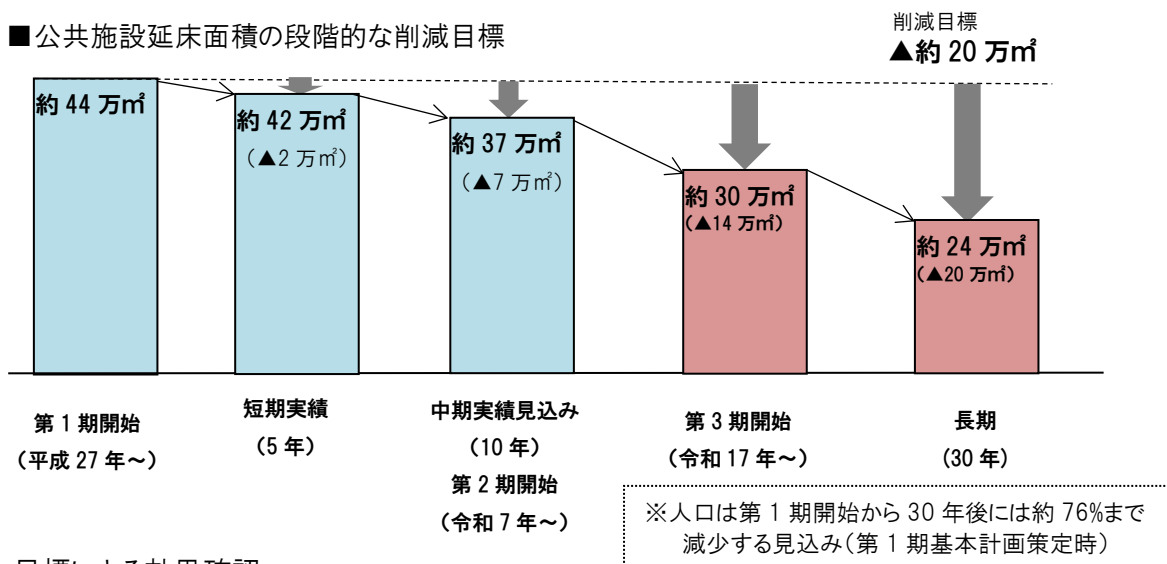
① 面積の削減目標

本市の公共施設マネジメントの取組における延床面積の削減目標は、公共施設マネジメント基本方針を踏まえて、下図の通り目標を設定しています。

第2期前期実施計画期間(5年間)においては、「福知山市行政改革大綱 2022-2026」をはじめ、各分野の既定計画(義務教育施設、保育園など)で統廃合が定められている公共施設(ハコモノ)については、計画に基づく統廃合を推進します。また、基本計画で方向付けを行う施設についても、この期間内で具体的な統廃合に着手します。それ以外の公共施設分野については、基本となる計画、マスタープランの見直しに際して、公共施設の再配置に関する具体的な方針を位置付け、削減に着手し、推進を図ります。

第2期基本計画期間(10年)における目標削減面積はおよそ7万㎡とします。

■ 公共施設延床面積の段階的な削減目標



② 目標による効果確認

第2期前期実施計画からは、下記の目標を設定し、延床面積の削減だけに留まらない公共施設マネジメントの成果を評価していきます。

ア 延床面積の削減

第1期基本計画期間の削減実績を踏まえ、延床面積の新たな削減目標を設定し評価します。

イ 維持管理費(施設管理費)の削減など効果額

公共施設のマネジメントにより、「貸付による維持管理費の削減」、「貸付による新たな収入」などの維持管理費に関する削減など効果を計上し、その効果額を評価します。

維持管理費における削減効果額については、施設の貸付実績の状況を踏まえて、本計画において目標を設定します。

ウ 省エネルギー設備の導入件数

公共施設における脱炭素化の取組として、省エネルギー設備の導入件数を評価します。

省エネルギー設備の導入件数については、本計画において目標を設定します。

※一部分のみに導入されている施設を含む。

(2) 取組の評価方法

第 1 期公共施設マネジメント実施計画の進捗管理における削減計画面積の考え方は、譲渡や除却により公共施設の総量削減を行うものだけを対象として目標設定していました。このため、施設を存続させて用途変更を行い、有効活用を図ったものは、毎年度の進捗管理において削減面積に算入していません。

用途変更は、用途廃止を行ったもののうち利活用可能な施設について、他の公用目的に転用したものであり、新たな施設整備等の経費発生を抑制しています。

また、用途廃止した施設を民間に貸し付け有効活用を図る場合、基本的には市として将来の大規模改修や施設更新を行う必要はなく、一定の財政的効果が見込めるうえ、民間事業者のノウハウにより地域の活性化が期待できるため、積極的に取り組み、その実績についても総量削減実績とは別に整理し、評価します。

今後は、施設の総量削減の取組に加え、存続する施設にかかるコスト削減の取組(老朽化対策・長寿命化等)を行い、公共施設マネジメント上の効果をより高い精度で試算するほか、「まちづくり」の視点から用途廃止となった施設については積極的に売却や貸付を行い、財源確保に取り組めます。

また、まちづくりや安心・安全に対する取組など、延床面積の削減や財政的効果以外の評価方法についても検討して参ります。

量(Volume)とともに質(Quality)のマネジメントへ

4 進捗管理

公共施設の再配置等について、設定した取組スケジュールに従って取組の推進を図ります。また、逐次進捗状況を把握し、課題に対応した取組方針の見直し等を行いながら、後期実施計画(令和12～16年度)を作成します。

(1) 公共施設マネジメントの進捗管理

施設所管課は、公共施設マネジメント基本計画及び本実施計画に基づいて、公共施設の更新計画、集約化・複合化計画、転用計画、除却計画等を作成し、計画的に施設整備等を進めます。

この際、必要に応じて福知山市公共施設マネジメント推進本部(又は事務局)による事業ヒアリングを実施し、事業内容を検討・精査するものとします。

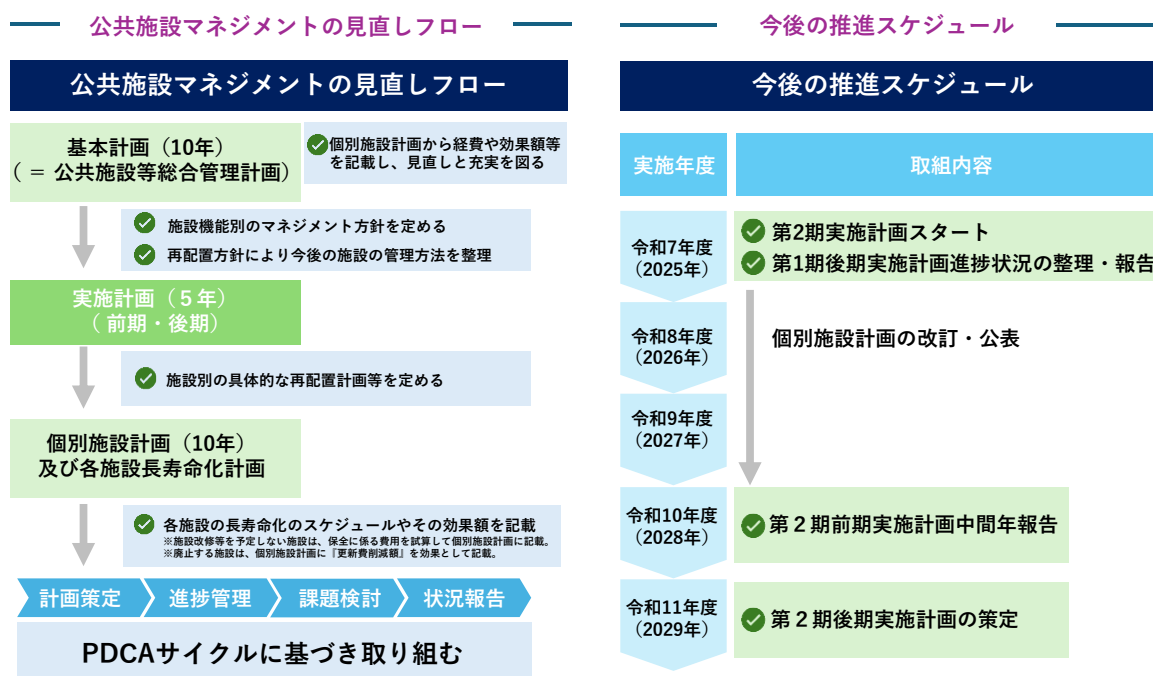
前期実施計画の中間年において進捗評価(評価項目の見直し、施設量、コスト削減効果等)を行うとともに、前期の残された課題、公共施設マネジメント全体に関する課題、対応方向・方策等について検討し、最終年には後期実施計画を策定します。

(2) 今後の推進スケジュール

前期実施計画で施設別の具体的な再配置計画等を定め、個別施設計画を適宜見直し、各施設の長寿命化のスケジュールやその効果額について整理し、記載します。

公共施設の総量削減の効果と合わせて個別施設計画で試算した経費や長寿命化による効果額から総コストの削減効果を整理し、基本計画の見直しと充実を図ります。

公共施設マネジメントの進捗管理については、引き続き PDCA サイクルに基づき取組を進めていきます。



5 個別施設の再配置方針

個々の公共施設について、再配置(更新・統合・譲渡・廃止・貸付)の具体的な方針と実施スケジュールを定めます。

(1) 公共施設再配置実施計画の枠組み

① 再配置の対象施設

原則として、一般的にハコモノと呼ばれる建物を中心とした全ての公共施設について再配置実施計画を定めます。

なお、公園に附属する小規模施設(トイレ、東屋等)及び企業会計により運営されている市民病院は対象から除いています。

■再配置対象一覧(用途小区分)

施設用途	用途小分類	担当課
1 公用施設	庁舎	総務課、危機管理室、文化・スポーツ振興課、道路河川課、三和支所、都市・交通課、健康医療課、夜久野支所、大江支所
	消防施設	消防本部、大江支所
2 教育施設	小学校	教育総務課、三和支所
	中学校及び小中一貫校	教育総務課
	学校給食センター	学校給食センター
3 公営住宅	市営住宅	建築住宅課
	その他住宅	人権推進室、建築住宅課、産業観光課、三和支所、大江支所
4 市民文化系施設	勤労青少年ホーム	生涯学習課
	市民会館・地域公民館	中央公民館、文化・スポーツ振興課、人権推進室、生涯学習課
	人権ふれあいセンター	人権推進室
	集会施設	建築住宅課、人権推進室、まちづくり推進課、農政課、教育総務課、高齢者福祉課、大江支所、中央公民館
5 医療施設	診療施設	保険年金課、資産活用課
6 子育て支援施設	幼稚園	子ども政策室
	こども園	子ども政策室
	保育園	子ども政策室
	児童施設	子ども政策室、人権推進室
	放課後児童クラブ教室など	生涯学習課
7 保健・福祉施設	保健福祉センター	健康医療課
	老人憩いの家	高齢者福祉課
	その他の社会福祉施設	社会福祉課、高齢者福祉課
8 産業系施設	産業振興施設	産業観光課、農林業振興課、人権推進室、農政課、三和支所、大江支所
	農業施設(共同作業所)	産業観光課、農林業振興課
9 観光・宿泊(研修)施設	観光施設	都市・交通課、産業観光課、夜久野支所、大江支所
	宿泊(研修)施設	農政課、生涯学習課、三和支所、夜久野支所、大江支所
10 生涯学習系施設	博物館	文化・スポーツ振興課、産業観光課、都市・交通課、夜久野支所、大江支所
	体育施設(体育館)	文化・スポーツ振興課、中央公民館、都市・交通課、三和支所
	体育施設(運動場)	文化・スポーツ振興課、都市・交通課、人権推進室、三和支所、社会福祉課、大江支所
	体育施設(プール)	文化・スポーツ振興課、生涯学習課
	その他の生涯学習施設	生涯学習課
11 その他	職員公舎	教育総務課
	その他の施設	文化・スポーツ振興課、農林業振興課、農政課、三和支所、人権推進室、資産活用課、障害者福祉課、社会福祉課

② 公共施設の評価（8つの視点で評価）

視点① 公共施設の配置に偏りがないか？

《手順》

- ・当該施設の本来的な配置のあり方、すなわち配置圏域として、どのような単位（全市、旧市町、中学校区、小学校区※、地区・集落、その他）であるべきか、またそれはなぜか、について規定します。
- ・その上で、公共施設を小学校区・中学校区毎に整理した「福知山市公共施設配置一覧」を用いて、上記のあり方に照らして、施設の地域的な分布状況の偏りや重複の有無を分析します。

※小学校区の区分について、市町村合併時点の小学校区で整理することとしています。

※「福知山市公共施設配置一覧」については、第2期基本計画に掲載

《分析ツール》

- ・「福知山市公共施設配置一覧」を用いて、小学校区・中学校区毎に公共施設の延床面積や施設数を分析します。

《評価》

- ◎ 偏りや重複なく配置されている
- 若干の偏りや重複がある
- △ 偏りがあり改善が必要である

視点② 同じ機能を持つ施設が近隣にないか？

《手順》

- ・「福知山市公共施設配置一覧」を用いて、異なる施設間で、同種・類似機能の偏りや重複の有無を分析します。

《分析ツール》

- ・「福知山市公共施設配置一覧」を用いて、施設機能別に偏りや重複の状況を分析します。

《評価》

- ◎ 近傍に同種・類似施設を持つ施設はない
- 近傍に同種・類似施設を持つ施設がある
- △ 近傍に代替可能な同種・類似施設を持つ施設がある

視点③ 民間に任せられないか？

《手順》

- ・当該施設の本来的な位置づけから、そもそも民間に任せることができない場合、その法的、制度的根拠を整理します。
- ・本市か他市町村かを問わず、当該施設機能を民間に任せている事例の有無を把握します。
- ・実際に任せることができる民間（既存の指定管理者や類似の民間施設の事業者などを含む）の有無を把握するとともに、可能な限り意向（参入可能性）を把握します。

《分析ツール》

- ・公共施設の管理運営を担う民間事業者の有無について、既に指定管理制度を導入している施設の指定管理者、類似の民間施設の事業者などを対象として現状や意向を把握します。

《評価》

- ◎ 当該施設の本来的な位置づけから、民間に任せることはできない
- 当該施設を民間が運営する事例がある、もしくは施設の機能に照らして民間に任せることが可能である
- △ 具体的に参入希望をもつ民間や可能性のある民間が存在する（既存の指定管理者を含む）

視点④ 利用ニーズは高いか？規模は適正か？

《手順》

- ・施設所管課への調査結果などを活用し、公共施設の利用がなされているかどうか（稼働率※など）、また利用者に偏りはないかなど、利用状況を整理把握し、施設の利用ニーズの高さや施設規模の適否などを分析します。

《分析ツール》

- ・施設所管課への調査により、個々の施設別に詳細な利用実態を把握します。

《評価》

- ◎ 施設の利用ニーズが高く、かつ、利用者の偏りがなく、適切に利用されている
 - 1 施設の利用度は低い（稼働率 30%未満）が、運営の改善によって利用ニーズを高め稼働率を向上することが可能
 - 2 施設の利用者に偏りがあるが、運営の改善によって、幅広い市民の利用に供することが可能
 - △ 施設の利用ニーズが低い（稼働率 30%未満）、または利用者の偏りがあり、運営の改善によってもこれらを改善できない
- ※稼働率は、会議室や研修室、宿泊施設、スポーツ施設等の貸室の利用度を示す指標
稼働率＝年間延利用回数／（年間供用日数×1日あたり利用可能回数）

視点⑤ 建物の老朽化状況は？

《手順》

- ・公共施設の築年数、大規模改修、部分改修・修繕等の履歴などを把握します。
- ・老朽化による安全性や利用上の問題点について、現在把握されている事項を整理します。

《分析ツール》

- ・施設の機能、規模、所管、改修履歴、資産評価などの一元的なデータベースを整理します。

《評価》

- ◎ 築年数が築 40 年未満であり、大規模改修・修繕等は今後必要となるが、各種設備等に関する定期点検において指摘事項はなく、必要な修繕・改修等により適切に維持管理が行われている
 - 1 築年数が築 40 年未満であり、各種設備等に関する定期点検において指摘事項があり、必要な修繕・改修等が求められている
 - 2 築年数が築 40 年以上であるが、大規模改修・修繕等を実施し、各種設備等に関する定期点検において指摘事項はなく、必要な修繕・改修等により適切に維持管理が行われている
 - △ 築年数が築 40 年以上であり、大規模改修・修繕等が未実施で、各種設備等に関する定期点検における指摘事項がみられ、安全性に懸念がある
- ※複数棟ある施設の場合は主たる棟で評価

視点⑥ 耐震性の状況は？

《手順》

- ・公共施設の建築確認年を確認し、旧耐震基準（1981 年 5 月 31 日以前までの建築確認）か新耐震基準（1981 年 6 月 1 日以降の建築確認）かを確認します。
- ・旧耐震基準の場合、耐震診断結果を踏まえた耐震改修が実施済みかどうかを把握します。

《分析ツール》

- ・施設の機能、規模、所管、改修履歴、資産評価などの一元的なデータベースを整理します。

《評価》

- ◎ 新耐震基準である
 - 旧耐震基準であるが、必要な耐震改修を実施している
 - △ 旧耐震基準であり、必要な耐震改修が未実施である
- ※複数棟ある施設の場合は主たる棟で評価

視点⑦ 将来の利用需要は？

《手順》

- ・全市及び小・中学校区別将来人口の見通しを参考にして、当該公共施設の利用圏域人口の減少を想定します。なお、これらはあくまで近年の動向をトレンド的に延長した推計値であるため、地域の動向なども加味して評価します。

《分析ツール》

- ・コーホート要因法により旧市町別の将来人口推計(年齢 5 歳階級)を行います。

《評価》

- ・令和 2 年人口(国勢調査実績値)を 100 としたときの令和 17 年(令和 6 年現在から概ね 10 年後)における当該施設の利用圏域の人口の指数を評価します。

全市の指数＝67,331 人(令和 17 年)÷77,306 人(令和 2 年)≒87(13%減少)

- ◎ 全市の指数 87 よりも大きい(減少率 13%未満)
- 全市の指数を下回る(指数 70～87(減少率 13～30%))
- △ 全市の指数を大きく下回る(指数 70 未満(減少率 30%超))

視点⑧ 災害リスク(土砂災害等の危険性)は？

《手順》

- ・災害リスク(土砂災害および洪水浸水の危険性)を判定します。

《分析ツール》

- ・福知山市総合防災ハザードマップにより施設の位置から被害の可能性を評価します。

《評価》

- ・公共施設の安全性とともに新たな利活用を検討する場合にも、災害リスクについて確認し、評価します。特に土砂災害については、突発的に発生し、災害発生の高まりが外見的にわかりづらいため、いどこで発生するかを予想することは困難であり、人的被害に繋がりがやすく、建物内(屋内)での被災が多いため、慎重に評価します。

＜土砂災害警戒区域＞

- ◎ 警戒区域(イエロー)・土砂災害警戒区域(レッドゾーン)のいずれにも属さない
- 警戒区域(イエローゾーン)内にある
- △ 土砂災害警戒区域(レッドゾーン)内にある

＜洪水浸水想定区域(想定最大規模)＞

- ◎ 浸水深 3.0m未満
- 浸水深 3.0～5.0m
- △ 浸水深 5.0m以上

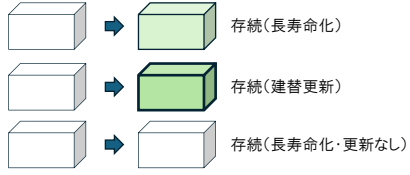

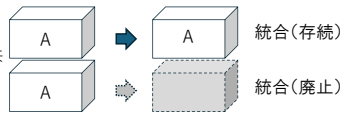
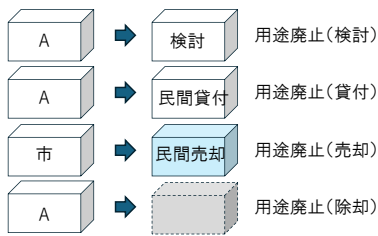

(2) 公共施設の再配置方針の区分

公共施設の評価の内容を基に、下記の区分により再配置方針を設定していくものとします。

なお、再配置の区分は、長期における施設の再配置区分と、それに向けた第2期前期実施計画期間内における再配置区分をそれぞれ設定します。

また、8つの評価視点は、いずれも質の異なる指標であり、単一の指標の優劣だけで機械的に区分を選択するものではありません。8つの指標を総合的に勘案しながら、最も重要な評価視点とその理由を明確にし、最適な区分を選択します。

■再配置区分のイメージについて

区分	第2期前期実施計画の再配置区分	内容	イメージ
①	存続(長寿命化)	長寿命化改修により、耐用年数を伸ばす。	
	存続(更新)	長寿命化改修は行わず、建替え更新を行う。	
	存続(長寿命化・更新なし)	長寿命化も建替え更新も行わない。	
②	用途変更	施設機能を変更し、他の公共施設として使用する。	
③	統合(存続)	当該施設に別施設の機能を統合し、存続する。	
	統合(廃止)	当該施設の機能を別施設に統合し、空になった施設は廃止する。	
④	用途廃止(検討)	施設を廃止し、施設の取扱い(利活用含む)について検討する。	
	用途廃止(貸付)	施設を廃止し、民間団体等に建物ごと貸し付ける。	
	用途廃止(売却)	施設を廃止し、民間団体等に建物ごと売却する。	
	用途廃止(除却)	施設を廃止し、除却する。	
⑤	譲渡	施設を廃止し、民間団体等に譲渡する。	

区分① 存続する公共施設

《考え方》

- ア 下記の区分②～⑤のいずれにも当てはまらず、公共施設として保持し続けることが必要である施設については、存続するものとします。

区分② 用途を変更し存続する公共施設

《考え方》

- ア 施設の現状などから、本来的には区分④とすべきであるものの、法制度の変化や市民ニーズの変化に基づいて公共施設機能の整備が必要となった場合に限り、用途を変更し存続することができるものとします。

区分③ 統合する公共施設

《考え方》

- ア 人口減少などの要因により、施設の維持に係る効率が他施設と比べて極度に低くなることが見込まれる施設で、隣接地域に同種・類似施設がある場合には、必要なサービス水準を維持するために施設の統合を行います。

(例)

- ・教育施設、福祉施設など、同種施設が多数あるもの
- ・類似施設への併設・統合が可能な施設

- イ 1 施設・1 機能の縦割型サービスではなく、1 施設の中で複合化・多機能化が図れるものについては、できる限り複合化を図ります。

(例)

- ・「施設重視から機能重視への転換」の観点から、「1 施設・多機能」を積極的に導入し、施設の合理的利用を図る
- ・その他

※なお、統合後、用途廃止した施設については、必要に応じて転用を検討するほか、更新・管理コストを新たに発生させないよう延床面積の削減を図ります。

区分④ 廃止する公共施設

《考え方》

- ア 何らかの理由により設置時の目的(機能の必要性)が消滅した施設については廃止します。

(例)

- ・整備時に設定された目的が、制度の変更その他の理由で現在では公共サービスとして提供する必要がなくなったもの

- イ 施設の利用率が極めて低いかまたは利用者の偏りがあり、税財源を投入して維持し続けることが、市民への公平なサービス提供の観点から見て不適切であるものについては、公共施設としては廃止します。

(例)

- ・施設の稼働率が低く、利用率改善の見通しが無いもの
- ・特定の利用者の専用施設のような状況にあり、広く公共の利用に供するための改善の見通しが無いもの

区分⑤ 譲渡する公共施設

《考え方》

ア 施設の利用者が限定された地域の住民に限られるコミュニティ施設で、地域住民が保有・管理することがふさわしい施設については、自治会などの住民組織に譲渡します。その場合、譲渡後の適切な運営について、必要な支援を行います。

イ 公共施設として保有し続けるためには税財源の投入が避けられない施設である一方、民間事業者による収益事業としての実施例があり、民間事業者の自主的な運営に託すことで、より効率的・効果的に業務遂行ができると考えられる施設は、積極的に民間事業者に譲渡します。

※なお、譲渡する施設は、当該用途の継続を原則とし、用途変更（及び転売など）は基本的に認められませんが、公共の福祉の増進と認められる場合は、用途の転用ができるものとします。

（３）施設機能別再配置実施計画

① 計画の構成

施設機能別再配置実施計画は、公共施設マネジメント基本計画に規定した機能別再配置方針に基づき次の構成とします。

ア 施設の概要

当該施設の設置目的、施設数、面積等の概要を示します。

イ 再配置方針

当該施設の現状分析を踏まえた削減目標や再配置の方針を示します。

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

各施設の評価と再配置方針、実施スケジュールを示します。

② 計画期間

第２期前期実施計画期間（令和７～１１年度）について年度別のロードマップを設定します。

再配置のスケジュール（実施計画）の凡例

「■」：再配置が完了する年度

「・」：施設の維持管理のみを実施する年度

「⇒」：用途廃止により今後の建物の取り扱いについて検討する年度

「／」：令和６年度までに再配置が完了済み（除却等）

再配置区分が「削減」の施設について

「一」：完了後、建物が存在する（貸付等の場合）

「 」：完了後、建物が存在しない（除却等の場合）

第２期前期の終了に先立って到達点の評価を行うとともに、第２期後期実施計画（令和１２～１６年度）を策定していきます。

1 公用施設

(1) 庁舎

ア 施設の概要

施設の目的	公務の正常かつ円滑適正な執行を確保し、市民サービス(住民票の発行などの窓口業務ほか)を提供します。				
施設概要	施設数	16	延床面積	28,463 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	2,846 ㎡	実績(第 1 期)	1,672 ㎡※前期 320 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	3 件
公共施設の現状分析	ア 行政本位の利用や効率化の視点だけではなく、市民の視点に立ち、組織の枠にとらわれない配置やレイアウトの工夫により、わかりやすさや利便性の向上を目指すとともに、スペースを有効に活用することで、市民の活動スペースの提供など市民に開かれた庁舎を実現する必要がある。 イ 支所等の公共施設は、市町合併後、市民生活に急激な変化がないよう、地域の特性やバランスを考えて配置してきたが、支所機能の本庁への集約化が進んでいる。このため、各支所庁舎については、事務室や会議室、議場などの余剰スペースがある。 ウ 庁舎(支所含む。)の他、倉庫等の小規模公用施設が点在している。 エ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・大江支所(照明 LED 化 令和 4 年度:1 件) ・市庁舎(照明 LED 化 令和 3・4 年度:1 件) ・三和支所(照明 LED 化 令和 5 年度:1 件、高効率空調導入 令和 5 年度:1 件)					
再配置の方針	ア 今後、大規模災害に対する危機管理拠点としての整備のほか、地域の拠点としての再整備を進める。 また、余剰スペースを民間企業へ貸付けすることなどにより、施設機能の補完や収益の向上に努める。 イ 小規模公用施設については、積極的な整理・統廃合を検討し、点在する小規模公用施設を大規模施設へ集約し、不用施設を抽出することや資産価値の低い施設(調整区域に設置された施設等)への集約などにより、不用施設の売却処分を進める。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価									③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置 の偏り	同 種 施設	民 間 活用	利 用 状 況	老 朽 化	耐 震 性	将 来 需 要	土 砂 災 害 警 戒 区 域	洪水 浸 水 想 定 区 域 (想 定 最 大 規 模)			～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
市庁舎	14,562	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化)	本市の拠点施設であるため存続する。	・	・	・	・	・	■
来庁者駐車場	3,829	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	本市の拠点施設であるため存続する。	・	・	・	・	・	・
無線中継所	4	庵我	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	防災行政無線を運用するための施設であるため、今後も必要に応じて修繕等を行い、維持管理を行う。	・	・	・	・	・	・
埋蔵文化財収蔵庫	606	下川口	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/
土木課倉庫	30	下川口	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	道路維持に必要な備品・消耗品を保管する倉庫であり、民間による利活用は想定していない。現状のまま使用する。	・	・	・	・	・	・
資材置場	191	細見	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/
三和町バス車庫(辻)	122	細見	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	屋根、風防3面の車庫で、バス車両の保管に必要である。	・	・	・	・	・	・
三和支所	2,888	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	支所機能継続	・	・	・	・	・	・
文化財収蔵庫	1,088	細見	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
倉庫(資料保管兼用)	443	細見	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	△	△	○	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
夜久野バス車庫(直見)	278	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	屋根、風防3面の車庫で、バス車両の保管に必要である。	・	・	・	・	・	・
文化財収蔵庫(旧育英小学校)(体育館)	374	中夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
文化財収蔵庫(旧育英小学校)	1,237	中夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
夜久野町旧保健センター	575	下夜久野	-	◎	◎	◎	△	△	△	○	○	◎	用途廃止(検討)	倉庫として利用しつつ今後の活用方法については、全市的な利活用方針に準じて検討する。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
旧夜久野中央公民館	650	下夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	△	△	△	△	△	△	○	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	書庫・倉庫として利用中。今後全庁的な検討が必要である。	・	・	・	・	・	・
夜久野支所(除雪車車庫)	122	下夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	△	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	除雪車の車庫として使用する。	・	・	・	・	・	・
夜久野バス車庫(畑)	67	下夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	屋根、風防3面の車庫で、バス車両の保管に必要である。	・	・	・	・	・	・
大江支所	2,194	美河	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	○	◎	△	存続(長寿命化)	支所機能継続	・	・	・	・	・	■
旧総合センター	968	美河	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/

(2)消防施設

ア 施設の概要

施設の目的	消防組織法(昭和 22 年法律第 226 号)第 10 条第 1 項の規定に基づき、消防本部及び消防署を設置します。				
施設概要	施設数	48	延床面積	8,121㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	276 m ²	中期目標(R7～R16)	2,436 m ²	実績(第 1 期)	1,165 m ² ※前期 1,059 m ² ※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	22 件
公共施設の現状分析	ア 消防団の施設整備は、団員の高齢化、若年層人口や農村・中山間地域の人口減少などにより団員の確保や活性化など課題を克服していく必要がある。また消防水利においても老朽化により順次更新が必要となるため、計画的に進めていく必要がある。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・福知山市消防署分署(照明 LED 化 令和 5 年度:2 件) ・分団統合車庫・詰所など(照明 LED 化 平成 27 年度:2 件、平成 28 年度:2 件、平成 29 年度:1 件、平成 30 年度:1 件、令和 2 年度:1 件、令和 3 年度:4 件、令和 5 年度:2 件)					
再配置の方針	ア 地域の実情に応じた消防団の再編や統合を計画に基づき実施し、効率的な部隊運用、消防施設、資機材の整備を進めるとともに、老朽化している防火水槽や消火栓についても適正配置方針に基づき順次改修する。					
関連計画等	○福知山市消防団活性化計画(平成 24 年 4 月)					

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

(常備消防施設)

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の 偏り	同種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂 災害 警戒 区域			洪水 浸水 想定 区域 (想定 最大 規模)	～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
多目的防災広場用地(防災センター)	4,195	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	本市の拠点施設として必要であるため存続する。	・	・	・	・	・	■
福知山消防署北分署	517	下川口	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	-	○-2	◎	△	◎	○	存続(長寿命化)	本市の拠点施設として必要であるため存続する。	・	・	・	・	・	■
福知山消防署東分署	855	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	-	○-2	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	本市の拠点施設として必要であるため存続する。	・	・	・	・	・	■

(消防団詰所)

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置 の偏り	同種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂災害 警戒区域			（洪水浸水 想定区域 最大規模）	～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
中央分団第2部(中ノ町)	63	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
中央分団第1部第4部(内記)本部	126	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
中央分団第5部(緑ヶ丘)	46	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
中央分団第3部(和久市)	56	昭和	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
中央分団第6部(上篠尾)	46	昭和	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
雀部分団第3部(川北)	38	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	-	-	-	-	△	△	○	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。 (昭和54年建築)	・	・	・	・	・	・
無線中継所	35	庵我	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	消防無線を維持する上で必要であるため存続する。	・	・	・	・	・	・
庵我分団第3部(筈巻)	54	庵我	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
修斉分団第4部(正明寺)	34	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	-	-	-	-	△	△	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。 (昭和54年建築)	・	・	・	・	・	・
西中分団第1部1班(観音寺)	43	遷喬	削減	-	-	-	-	◎	◎	◎	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (平成2年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
西中分団第1部2班(興)	74	遷喬	削減	-	-	-	-	◎	◎	◎	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (平成2年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
西中分団第2部1班(石原)本部	75	遷喬	削減	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (平成2年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
西中分団第2部2班(土)	48	遷喬	削減	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。	・	・	・	・	・	・
西中分団第3部(戸田)	60	遷喬	削減	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。	・	・	・	・	・	・
上豊分団第2部(畑中)本部	75	上豊富	削減	-	-	-	-	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (平成4年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
上豊分団第1部(口榎原)	43	上豊富	削減	-	-	-	-	△	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (昭和59年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
上豊分団第3部(談)	46	上豊富	削減	-	-	-	-	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (平成2年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
上六分団第3部(池田)跡地	25	上六人部	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(売却)	令和6年度売却済	/	/	/	/	/	/
下六分団第2部(長田南北)	68	下六人部	削減	-	-	-	-	○-1	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (平成6年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
下六分団第1部(多保市)	29	下六人部	削減	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。	・	・	・	・	・	・
下六分団第3部1班(上松)	20	下六人部	削減	-	-	-	-	○-1	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (平成7年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
下六分団第3部2班(長田段)本部	85	下六人部	削減	-	-	-	-	○-1	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (昭和60年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
下六分団第4部(岩間)	28	下六人部	削減	-	-	-	-	○-1	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (平成元年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
下六長田北消防器具庫	52	下六人部	削減	◎	◎	◎	-	○-1	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の実情に応じた再編や統合を実施する。 (平成元年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
上川分団第1部2班(大呂)	46	上川口	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。 (平成3年建築 老朽化 令和5年屋根改修)	・	・	・	・	・	・
上川分団第1部1班(野花)第2部(小田)	149	上川口	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
金谷分団第1部(猪野々)第2部(梅谷)	118	金谷	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
金山分団第1部(天座)	47	金山	存続(長寿命化・更新あり)	-	-	-	-	○-1	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。 (昭和63年建築 老朽化)	・	・	・	・	・	・
金山分団第2部第3部(野条・行積・長尾)本部	134	金山	存続(長寿命化・更新あり)	-	-	-	-	△	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。 (詰所:昭和50年建築 老朽化 車庫平成26年 老朽化なし)	・	・	・	・	・	・
雲原分団第1部第2部(雲原)	79	公誠	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
佐賀分団統合車庫・詰所	114	佐賀	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
細見川合分団第2部(寺尾・草山)	23	細見	削減	-	-	-	-	△	△	△	◎	◎	用途廃止(除却)	令和7年度除却予定	・	■				
細見川合分団第1部(芦刈)	50	細見	削減	-	-	-	-	△	◎	△	◎	◎	用途廃止(除却)	令和7年度除却予定	・	■				
細見川合分団第3部(千束・梅原)本部	63	細見	削減	-	-	-	-	○-1	◎	△	○	◎	用途廃止(除却)	令和7年度除却予定	・	■				
細見川合分団第4部(辻)	23	細見	削減	-	-	-	-	△	◎	△	○	◎	用途廃止(除却)	令和7年度除却予定	・	■				
上夜久野分団第1部(門垣・副谷)	26	上夜久野	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
上夜久野分団第2部(山中)本部	37	上夜久野	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/
上夜久野分団第3部(中田)	34	上夜久野	削減	-	-	-	-	◎	◎	△	○	◎	用途廃止(貸付)	令和6年度から貸付	■	■	—	—	—	—
上夜久野分団第3部(田谷垣)	39	上夜久野	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/
河守分団第1部(新町・清水)	48	美河	削減	-	-	-	-	△	◎	○	△	○	用途廃止(除却)	令和7年度除却予定	・	■				
河西分団統合車庫・詰所	89	美河	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
河守分団第2部(中央・関・下町)	70	美河	削減	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	用途廃止(除却)	令和7年度除却予定	・	■				
河守分団第3部統合車庫・詰所	110	美河	存続(長寿命化・更新なし)	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	365日絶え間なく各種災害に備える必要がある。	・	・	・	・	・	・
河守上分団第1部1班(内宮)	15	美鈴	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
河守上分団第2部(天田内)	32	美鈴	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/

(水防倉庫、消防器具庫等)

施設名	延床 面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配 置 の 偏 り	同 種 施 設	民 間 活 用	利 用 状 況	老 朽 化	耐 震 性	将 来 需 要	土 砂 災 害 警 戒 区 域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
土師水防倉庫	20	雀部	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	-	△	△	○	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	地域の防災施設として必要不可欠であるため存続する。 (建築年不明)	・	・	・	・	・	・
牧水防倉庫	15	下川口	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	-	△	△	△	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	地域の防災施設として必要不可欠であるため存続する。 (建築年不明 老朽化)	・	・	・	・	・	・
宮水防倉庫	33	中六人部	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	-	◎	◎	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域の防災施設として必要不可欠であるため存続する。	・	・	・	・	・	・
河東防災倉庫	12	美河	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	防災施設	・	・	・	・	・	・
有路下防災倉庫	10	美河	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	防災施設	・	・	・	・	・	・
河守防災倉庫	26	美河	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	防災施設	・	・	・	・	・	・

2 教育施設

(1) 小学校

ア 施設の概要

施設の目的	福知山市立小学校は、法律の規定に基づき設置し、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものを備えます。また、校具及び教具は、常に改善し、補充します。教育では、社会生活の経験に基づき、人間相互の関係について、正しい理解と協同、自主及び自律の精神を養い、心身の発達に応じて、初等普通教育を施します。				
施設概要	施設数	25	延床面積	79,180 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	3,536 ㎡	中期目標(R7～R16)	11,877 ㎡	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 2,797 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	19,588 千円	省エネ設備導入 施設数目標	3 件	省エネ設備導入 施設数実績	8 件
公共施設の現状分析	ア 複式学級の解消を目的に「福知山市公立学校施設整備計画」に沿って、地域の実情にあわせた統廃合や施設再整備を進める。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・小学校体育館(照明 LED 化 令和 2 年度:1 件、令和 3 年度:3 件、令和 4 年度:2 件、令和 5 年度:2 件、令和 6 年度:3 件)					
再配置の方針	ア 複式学級のある学校を対象に適正規模・適正配置を進める。 イ 学校施設の更新にあたっては、スケルトン方式を採用し、地域ニーズに的確に対応した施設の複合化を進める。 また、学校施設が避難所となる場合には、想定避難者数や、災害種別のリスクを考慮し、防災担当部局と連携して、避難所として必要となる機能を障がい者、高齢者、妊産婦等の要配慮者の利用を踏まえて計画する。 ウ 統合により学校の機能がなくなった施設については、廃止を基本とし、跡地の利活用については、民間施設として貸付・売却を原則とした活用方法を地域と共に検討する。					
関連計画等	○福知山市立公立学校施設整備計画 ○福知山市学校施設長寿命化計画					

ウ 各施設の評価と再配置方針

(小学校)

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価									③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～R6	R7	R8	R9	R10	R11
惇明小学校	6,815	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-2	○	◎	◎	△	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	■	・	・
惇明小学校体育館	860	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-2	○	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
昭和小学校	5,701	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-2	○	◎	◎	△	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	■	・
昭和小学校体育館	971	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-2	○	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
大正小学校	4,431	大正	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-2	○	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	■
大正小学校体育館	971	大正	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-2	○	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
雀部小学校	4,918	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	○	◎	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	■	・	・
雀部小学校体育館	1,071	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
庵我小学校	2,049	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	■	・
庵我小学校体育館	804	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
修斉小学校	4,085	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	■
修斉小学校体育館	920	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
遷喬小学校	3,544	遷喬	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	■	・	・	・	・
遷喬小学校体育館	801	遷喬	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
上豊富小学校	2,615	上豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
上豊富小学校体育館	918	上豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-2	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
旧上六人部小学校	1,742	上六人部	-	△	△	△	△	○-2	◎	△	◎	◎	用途廃止(検討)	平成30年度統廃合・廃止。遊休施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
旧上六人部小学校体育館	664	上六人部	-	△	△	△	△	◎	◎	△	◎	◎	用途廃止(検討)	平成30年度統廃合・廃止。遊休施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
六人部小学校	3,686	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	■	・	・
六人部小学校体育館	678	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-2	○	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
上川口小学校	2,613	上川口	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	■	・	・	・	・
上川口小学校体育館	771	上川口	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
旧三岳小学校体育館	452	三岳	削減	△	△	◎	△	△	△	△	○	◎	用途廃止(除却)	老朽化度、危険性を判断して除却を行う。	・	・	・	・	・	■
旧三岳小学校	125	三岳	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	複合化施設(集会所、消防施設等)として改修し活用中。	・	・	・	・	・	・
旧金谷小学校	2,010	金谷	-	△	△	◎	△	◎	◎	△	△	◎	用途廃止(検討)	令和2年度統廃合・廃止。遊休施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
旧金谷小学校体育館	732	金谷	-	△	△	◎	△	◎	◎	△	△	◎	用途廃止(検討)	令和2年度統廃合・廃止。遊休施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
スクールバス車庫(旧公誠小学校)	36	公誠	存続(長寿命化・更新なし)	△	△	△	△	△	◎	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	必要な施設であり、維持管理を行う。	・	・	・	・	・	・
成仁小学校	3,645	成仁	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	■	・
成仁小学校体育館	841	成仁	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-2	○	○	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価									③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～R6	R7	R8	R9	R10	R11
旧細見小学校(活用事業)	2,177	細見	削減	◎	◎	○	△	△	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	貸付を検討中	・	■	—	—	—	—
旧細見小学校(活用事業)(体育館)	528	細見	削減	◎	◎	○	△	△	○	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	貸付を検討中	・	■	—	—	—	—
三和小学校	623	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
旧精華小学校	3,084	上夜久野	削減	△	△	◎	△	△	△	△	◎	△	用途廃止(除却)	老朽化度、緊急性を判断し、除却する。	・	・	・	・	・	■
夜久野小学校	645	中夜久野	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
旧明正小学校	1,984	下夜久野	-	△	△	△	△	△	△	○	◎	○	用途廃止(検討)	平成25年度統廃合・廃止。遊休施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
スクールバス車庫(大江)	526	美河	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	○	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	必要な施設であり、維持管理を行う。	・	・	・	・	・	・
旧美河小学校	3,766	美河	-	△	△	△	△	○-2	○	○	△	◎	用途廃止(検討)	令和3年度統廃合・廃止。施設の老朽化度や利用状況等を勘案しながら、施設のあり方について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
旧美河小学校体育館	552	美河	-	△	△	△	△	○-2	○	○	△	◎	用途廃止(検討)	令和3年度統廃合・廃止。施設の老朽化度や利用状況等を勘案しながら、施設のあり方について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
大江小学校	1,112	美河	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
旧美鈴小学校	1,799	美鈴	削減	△	△	△	△	○-2	○	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	貸付を検討中	・	■	—	—	—	—
旧美鈴小学校体育館	552	美鈴	削減	△	△	△	△	○-2	○	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	貸付を検討中	・	■	—	—	—	—
旧有仁小学校	1,807	有仁	削減	△	△	△	△	○-2	○	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
旧有仁小学校体育館	554	有仁	削減	△	△	△	△	○-2	○	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—

(2) 中学校及び小中一貫校

ア 施設の概要

施設の目的	福知山市立中学校は、法律の規定に基づき設置し、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものを備え、校具及び教具は常に改善し、補充します。教育では、社会的活動を促進し、その感情を正しく導き、さらには社会に必要な職業についての基礎的な知識と技能、将来の進路を選択する能力を養うよう、中等普通教育を施します。																		
施設概要	施設数	9			延床面積			50,070 ㎡											

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	生徒数推計を勘案し 長寿命化を進める	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	9 件
公共施設の現状分析	ア 複式学級の解消を目的に「福知山市公立学校施設整備計画」に沿って、地域の実情にあわせた統廃合や施設再整備を進める。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・中学校体育館(照明 LED 化 平成 25 年度:2 件、令和 2 年度:1 件、令和 3 年度:3 件、令和 4 年度:1 件、令和 4・5 年度:1 件、令和 5 年度:1 件、蓄電池導入 令和 4 年度:1 件、令和 5 年度:1 件)					
再配置の方針	ア 複式学級のある学校を対象に適正規模・適正配置を進める。 イ 学校施設の更新にあたっては、スケルトン方式を採用し、地域ニーズに的確に対応した施設の複合化を進める。 また、学校施設が避難所となる場合には、想定避難者数や、災害種別のリスクを考慮し、防災担当部局と連携して、避難所として必要となる機能を障がい者、高齢者、妊産婦等の要配慮者の利用を踏まえて計画する。					
関連計画等	○福知山市立公立学校施設整備計画 ○福知山市学校施設長寿命化計画					

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
南陵中学校	5,913	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	■	・	・	・
南陵中学校体育館	1,908	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
桃映中学校	4,778	大正	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	◎	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
桃映中学校体育館	1,100	大正	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	◎	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
日新中学校	6,008	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	○	◎	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	■
日新中学校体育館	950	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
成和中学校	4,031	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	■
成和中学校体育館	933	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
六人部中学校	3,462	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	■	・
六人部中学校体育館	1,205	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
川口中学校	3,857	上川口	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
川口中学校体育館	871	上川口	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・
三和中学校	3,279	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	△	△	◎	存続(長寿命化)	令和元年度再編。各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	■
三和中学校体育館	1,271	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和元年度再編。各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	・	・	・	・	・	・

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価									③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～R6	R7	R8	R9	R10	R11
夜久野中学校	4,145	中夜久野	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	平成25年度再編。各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)
夜久野中学校体育館	1,972	中夜久野	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	平成25年度再編。各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)
大江中学校	3,077	美河	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	令和3年度再編。各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)	.	.	.	■	.	.
大江中学校体育館	1,310	美河	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和3年度再編。各学年単学級を維持(学校規模の許容範囲)

(3) 学校給食センター

ア 施設の概要

施設の目的	学校給食センターは学校給食法に基づき設置され、安定的に安心安全な学校給食を児童・生徒に提供しています。																		
施設概要	施設数	2			延床面積(㎡)			4,550 ㎡											

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	455 ㎡	実績(第 1 期)	278 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	2,063 千円	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	1件
公共施設の現状分析	ア 児童・生徒数の減少により、施設性能が過大となる見込みであるが、厨房機器の種類によっては設置している数を減らすことはできたとしても施設そのものの面積の削減は困難である。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・学校給食センター(太陽光パネル追加設置 令和 3 年度:1 件)					
再配置の方針	ア 用途廃止済みの旧夜久野学校給食センターは、貸付を検討する。 イ 計画的に施設の一元化を進めて1センターとなった福知山市学校給食センターは引き続き存続する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
福知山市学校給食センター	4,017	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	存続(長寿命化)	令和3年度から1センターになり、稼働状況の観点から鑑みて存続する必要がある。	・	・	・	・	・	■
旧夜久野学校給食センター	532	下夜久野	削減	◎	◎	◎	△	○-1	◎	○	◎	△	用途廃止(貸付)	平成27年度をもって施設機能は用途廃止済であるが、他施設と同一敷地に存在するため貸付を検討する。	・	・	・	■	—	—

3 公営住宅

(1) 市営住宅

ア 施設の概要

施設の目的	市営住宅は、健康で文化的な生活を営むために、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、生活の安定と社会福祉の増進に寄与します。				
施設概要	施設数	22	延床面積	61,900 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	4,656 m ²	中期目標(R7～R16)	6,190 m ²	実績(第 1 期)	3,666 m ² ※前期 103 m ² ※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	13 件
公共施設の現状分析	ア 管理戸数等 23 団地 973 戸を管理（令和 5 年 3 月 31 日現在） 入居戸数 646 戸(空家戸数 327 戸) 入居率 66.4% イ 空家募集状況等 過去 5 年間の空家募集状況は、募集 66 戸に対して申込 271 世帯 ウ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・市営住宅(照明 LED 化 平成 23 年度:1 件、平成 28 年度:2 件、平成 29 年度:1 件、平成 30 年度:4 件、令和 2 年度:3 件、令和 5 年度:2 件)					
再配置の方針	ア 福知山市市営住宅整備計画に基づき、用途廃止や統合建替え方針の住宅については、住替え等を促進し、早期に住宅の集約化を進める。また、建替え対象としている市営住宅についても、人口減少や民間の住宅供給量を勘案し、最低限の更新に留めるものとする。					
関連計画等	○福知山市公営住宅等長寿命化計画					

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価									③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置 の偏り	同種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～R6	R7	R8	R9	R10	R11
南天田団地	4,791	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
つつじが丘団地	2,924	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	○-2	○-2	○	◎	◎	◎	統合(存続)	向野団地と統合し建替えを実施する。	・	・	■	・	・	・
岡ノ三団地	3,630	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
広峯団地	4,857	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
夕陽が丘団地	4,914	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
南岡団地	729	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	◎	△	△	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	一定の需要はあるが、老朽化し耐震性に問題があるため検討を行う。	・	・	・	・	・	・
旭が丘団地	3,088	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
矢見所団地	1,003	昭和	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	◎	△	△	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	老朽化しているが利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
向野団地	2,923	昭和	削減	○	○	○	○-2	△	△	◎	○	◎	用途廃止(除却)	つつじが丘団地の統合・建替えに伴い廃止する。	・	・	■			
堀口団地	2,147	大正	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
日吉ヶ丘団地	5,200	大正	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	○-2	○-2	○	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	老朽化しているが利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
東堀団地	1,277	大正	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
宮ノ下団地	774	大正	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
秋津が丘団地	5,801	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
南佳屋野団地	13,325	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	○-2	△	○	◎	◎	統合(存続)	西佳屋野団地を含めた集約・建替えを検討している。	・	・	・	・	・	■
西佳屋野団地	1,592	雀部	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	◎	○-2	△	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	南佳屋野団地の建替えに伴う集約も検討している。	・	・	・	・	・	・
猪崎団地	504	庵我	削減	○	○	○	△	△	○	○	△	◎	用途廃止(除却)	小規模・老朽化のため、入居状況次第で除却を検討する。	・	・	・	・	・	■
菟原中団地	393	菟原	削減	○	○	○	○-2	△	◎	△	◎	◎	用途廃止(除却)	小規模・老朽化のため、入居状況次第で除却を検討する。	・	・	・	・	・	■
三和菟原下団地	31	菟原	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/
高内団地	517	中夜久野	削減	○	○	○	△	△	○	△	○	◎	用途廃止(除却)	小規模・老朽化のため、入居状況次第で除却を検討する。	・	・	・	・	・	■
向団地	1,190	下夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	○-2	◎	◎	○	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
市営住宅仲町団地	159	美河	削減	○	○	○	○-2	◎	◎	○	◎	◎	用途廃止(除却)	小規模・老朽化のため、入居状況次第で除却を検討する。	・	・	・	・	・	■
日吉東団地	160	美河	削減	○	○	○	△	△	○	○	◎	◎	用途廃止(除却)	小規模・老朽化のため、入居状況次第で除却を検討する。	・	・	・	・	・	■

(2) その他住宅

ア 施設の概要

施設の目的	特定公共賃貸住宅は、地域での定住促進のために中堅層向けに提供、改良住宅は地域の環境整備のために建設され、いずれも地域での定住、社会福祉の増進に寄与します。					
施設概要	施設数	27	延床面積	12,626 ㎡		

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	1,001 ㎡	中期目標(R7～R16)	5,050 ㎡	実績(第 1 期)	338 ㎡※前期 65 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	2 件
公共施設の現状分析	ア 一戸建住宅(令和 5 年 3 月 31 日現在) 管理戸数 17 戸のうち、入居戸数 12 戸 イ 福知山市営地域住宅、改良住宅 5 団地 52 戸を管理 (令和 5 年 3 月 31 日現在) 入居戸数 34 戸(空家戸数 18 戸) 入居率 65.4% ウ 定住促進住宅 3 団地 75 戸を管理 (令和 5 年 3 月 31 日現在) 入居戸数 46 戸 入居率 61.3% エ 立地企業など従業員住宅 2 団地 26 戸を管理 (令和 5 年 3 月 31 日現在) 入居戸数 14 戸 オ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・菟原住宅団地(令和 4 年度:照明 LED 化 1 件) ・二俣住宅(令和 4 年度:照明 LED 化 1 件)					
再配置の方針	ア 一戸建て住宅については、持家化促進の事業目的を果たすため、使用者への譲渡を促進する。 イ 改良住宅については、既存入居者の動向を勘案しながら、入居者への譲渡や他用途への転用を検討する。 ウ 定住促進住宅については、入居率等を勘案し、長期にわたって入居のない住宅を抽出し、廃止する。 エ 立地企業等従業員住宅については、起債償還後の工業団地立地企業への譲渡を検討する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価									③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置 の偏り	同 種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～ R6	R7	R8	R9	R10	R11	
旭が丘市営一戸建住宅No.41	33	惇明	削減	△	○	△	◎	△	△	◎	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
旭が丘市営一戸建住宅 No.76	43	惇明	削減	△	○	△	◎	△	△	◎	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
旭が丘市営一戸建住宅 No.121	103	惇明	削減	△	○	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
下猪崎市営一戸建住宅 No.163	48	庵我	削減	△	○	△	◎	△	△	○	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
長田南市営一戸建住宅 No.187	61	下六人部	削減	△	○	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
長田北市営一戸建住宅 No.180	78	下六人部	削減	△	○	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
小田市営一戸建住宅No.32	36	上川口	削減	△	○	◎	◎	△	△	○	◎	○	用途廃止(除却)	令和8年度除却予定	・	・	■				
十三丘市営一戸建住宅 No.193	75	上川口	削減	△	○	△	◎	△	◎	○	△	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
菟原住宅団地	855	菟原	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・	
菟原下二市営一戸建住宅 No.204	80	菟原	削減	△	○	△	◎	△	◎	△	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
菟原下二市営一戸建住宅 No.200	80	菟原	削減	△	○	△	◎	△	◎	△	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
三和町立地企業等従業員住宅 (ヴィラージュみわ)	465	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	アネックス京都三和立地企業従業員が利用されており、設備等の修繕は多いが、施設の存続は必須である。	・	・	・	・	・	・	
芦洲大平団地	382	細見	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・	
フォレストサイドみわ(東棟)	597	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	アネックス京都三和立地企業従業員が利用されており、施設等の修繕は多いが、施設の存続は必須である。	・	・	・	・	・	・	
千束市営一戸建住宅No.195	48	細見	削減	△	○	◎	◎	△	△	△	◎	◎	用途廃止(除却)	令和8年度除却予定	・	・	■				
みわ上川合住宅	170	川合	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・	
岬市営一戸建住宅No.202	80	川合	削減	△	○	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
中田団地(改良住宅)	1,757	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	◎	◎	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・	
夜久野市営一戸建住宅 No.216	66	上夜久野	削減	△	○	△	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
向市営一戸建住宅No.207	63	下夜久野	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/	
向市営一戸建住宅No.208	67	下夜久野	削減	△	○	△	◎	△	◎	○	◎	◎	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
向団地(改良住宅)	632	下夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	◎	△	△	○	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・	
鬼の里Uターン広場1	1,267	美河	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-1	◎	○	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	移住定住促進住宅	・	・	・	・	・	・	
鬼の里Uターン広場2	2,270	美河	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	△	存続(長寿命化)	移住定住促進住宅	・	・	・	・	・	■	
二俣住宅	976	美鈴	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	○-2	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・	
鬼の里定住促進団地	2,254	美鈴	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	◎	◎	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化)	移住定住促進住宅	・	・	・	・	・	■	
南二市営一戸建住宅No.217	47	有仁	削減	△	○	△	◎	△	△	△	◎	○	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	
南二市営一戸建住宅No.219	54	有仁	削減	△	○	△	◎	△	△	△	◎	○	譲渡	持家化促進のため使用者へ譲渡を進める。	・	・	・	・	・	■	

4 市民文化系施設

(1) 勤労青少年ホーム

ア 施設の概要

施設の目的	勤労青少年ホームは、勤労青少年の福祉を図り、健全な育成のために、憩い、スポーツ、レクリエーション、文化教養等の事業を行います。また活動のための施設提供を行います。				
施設概要	施設数	1	延床面積(㎡)	990 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減目標 (延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	老朽化や利用状況を 勘案し検討	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 平成 26 年 3 月に福知山市勤労青少年ホーム条例を廃止済みであり、現在は適応指導教室等として利用している。					
再配置の方針	ア 適応指導教室等が移転後に廃止する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
旧勤労青少年ホーム	990	惇明	削減	○	○	◎	○-1	△	△	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	老朽化著しく新耐震基準でないことから施設状況・利用状況を踏まえて今後除却を含めた再配置について検討する。	・	・	・	・	・	・

(2) 市民会館・地域公民館

ア 施設の概要

施設の目的	ハピネスふくちやまは、人権行政、子育て総合窓口を担う部署等があり、市民の文化活動等の場としての機能を有するほか、災害時の広域避難所としての機能を有します。 地域公民館は、講座の開設、講習会の開催等を行うとともに、必要に応じて学校、社会教育施設、社会教育関係団体や民間団体、関係行政機関等と共同して各種事業を行い、市民に多様な学習機会を提供することに努めます。また、家庭教育に関する学習機会及び学習情報の提供、相談及び助言の実施、交流機会の提供により、家庭教育への支援にも努めます。 市民交流プラザふくちやまは、市民文化の向上及び福祉の増進を図り、図書館及び公民館並びに市民の学習活動、交流等のための各種事業、及び施設の提供を行います。				
施設概要	施設数	12	延床面積	23,585 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減目標 (延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	施設稼働率を勘案し 施設更新時に規模 縮小	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 463 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	2,696 千円	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	4 件
公共施設の現状分析	ア 地域の中核コミュニティ施設として、災害時の広域避難所としてのニーズは、今後も増すことが予測されるが、現在のところ施設稼働率は高くない。 イ ホール施設は、機能別・利用圏域別に整理し、民間施設を含めた類似機能施設の近接状況や市域全体のバランス、稼働状況等を勘案し、再配置を進める必要がある。 ウ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・夜久野町文化・保健福祉複合施設(夜久野町生涯学習センター・西部保健福祉センター)(令和 4 年度:照明 LED 化 1 件、高効率空調導入 1 件、蓄電池導入 1 件) ・日新地域公民館(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件、高効率空調導入 1 件、蓄電池導入 1 件) ・ハピネスふくちやま(平成 28 年度:照明 LED 化 1 件) ・北陵地域公民館(令和 3 年度:照明 LED 化 1 件、高効率空調導入 1 件、蓄電池導入 1 件)					
再配置の方針	ア 地域公民館施設の更新にあたっては、スケルトン方式を採用し、地域ニーズに的確に対応した施設の複合化を進める。 イ 併せて、当該施設が避難所となる場合には、想定避難者数や、災害種別のリスクを考慮し、防災担当部局と連携して、避難所として必要となる機能を、障がい者・高齢者・妊産婦等の要配慮者の利用を踏まえ再整備する。 ウ 他用途施設の機能を集約することにより、当該施設の付加価値を高めることで日常的な利用拡大を目指すとともに、効率的な管理体制による施設運営を進める。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床 面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置 の偏り	同 種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂 災害 警戒区域			洪水 浸水 想定区域 (想定最大規模)	～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
市民交流プラザふくちやま(中央公民館・図書館中央館)	6,427	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化)	市民の生活・学習・文化活動を支援し、まちに活気と賑わいをもたらす中心市街地の活性化に寄与する複合施設である。	・	・	・	・	・	■	
厚生会館	3,780	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	○	◎	◎	△	△	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度中の方針決定予定	・	・	・	・	・	・
ハピネスふくちやま	3,500	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	◎	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	人権行政や子育て総合窓口を担う部署等があり、市民の文化活動等の場としての機能を有するため存続する。	・	・	・	・	・	・
成和地域公民館(豊富農村環境改善センター)	840	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	社会教育事業の拠点施設として、必要不可欠であるため存続する。	・	・	■	・	・	・
日新地域公民館	859	遷喬	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和5年長寿命化改修完了。社会教育事業等の拠点として、継続して維持管理を行う。	・	・	・	・	・	・
六人部地域公民館	774	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年長寿命化改修完了。社会教育事業等の拠点として、継続して維持管理を行う。	・	・	・	・	・	・

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
川口地域公民館	533	上川口	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	△	○	○	◎	◎	存続(長寿命化)	社会教育事業の拠点施設として、必要不可欠であるため存続する。	・	■	・	・	・	・
北陵地域公民館	581	金山	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	○-1	◎	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和3年施設整備完了。社会教育事業等の拠点として、継続して維持管理を行う。	・	・	・	・	・	・
三和地域公民館	696	細見	削減	○	○	○	△	◎	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	令和6年用途廃止。民間団体等への貸付け等を検討する。	・	・	・	・	・	■
夜久野町文化・保健福祉複合施設(夜久野町生涯学習センター・西部保健福祉センター)	3,148	下夜久野	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	◎	◎	○-1	◎	○	○	◎	存続(長寿命化)	図書館夜久野分館・夜久野支所と一体となった複合施設であり、今後も必要な施設である。	・	・	・	・	・	■
大江地域公民館(大江町過疎地域集会施設)	710	美河	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	◎	◎	○-1	◎	○	○	◎	存続(長寿命化)	社会教育事業の拠点施設として、必要不可欠であるため存続する。	・	・	・	・	■	・
大江町過疎地域総合センター	1,737	美河	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	◎	◎	○-1	◎	○	◎	△	存続(長寿命化)	大江地域の住民サービスの拠点施設として、必要不可欠である。	・	・	・	・	・	■

(3) 人権ふれあいセンター

ア 施設の概要

施設の目的	人権ふれあいセンターは、基本的人権尊重の精神に基づき、すべての人の人権が尊重される社会の実現に寄与するとともに、市民の福祉の向上及び市民に対する人権啓発の推進並びに市民交流の促進を図ります。					
施設概要	施設数	5		延床面積		2,142 ㎡

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	321 ㎡	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	1 件
公共施設の現状分析	ア 福祉の向上、人権啓発及び市民交流の促進を図るために設置し、相談事業・地域福祉事業・啓発事業・市民交流事業・人材育成事業に 供している。 イ 地域改善対策特別措置法等に基づく対策により、近隣には教育集会所・児童館などの人権尊重等に関わる施設がある。 ウ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・人権ふれあいセンター 南佳屋野会館(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件)					
再配置の方針	ア 公共施設マネジメント基本方針に基づき、児童館他公共施設との複合化や統合について検討し、施設の再編整備を進めるとともに、更新に あたっては規模の適正化に留意し総量削減に努める。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価									③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～R6	R7	R8	R9	R10	R11
人権ふれあいセンター 堀会館	582	大正	存続(長寿命化・更新なし)	△	△	○	◎	○-2	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	周辺に機能統合可能な施設がないため、存続させる。	・	・	・	・	・	・
人権ふれあいセンター 南佳屋野会館	414	雀部	削減	△	△	○	◎	○-2	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・
人権ふれあいセンター 下六人部会館	432	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	△	△	○	◎	○-2	○	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	大規模改修を実施したことにより、施設を存続させる。	・	・	・	・	・	・
人権ふれあいセンター さわやか館	442	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	△	△	○	◎	○-2	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	旧上夜久野児童館と統合したため、施設を存続させる。	・	・	・	・	・	・
旧人権ふれあいセンター さわやか館	181	上夜久野	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/
人権ふれあいセンター きらめき館	272	下夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	△	△	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・

(4) 集会施設

ア 施設の概要

施設の目的	地域集会所・農村研修集会施設は、地域活動や防災の拠点として、地域コミュニティの活性化を図ることを目的として設置しています。教育集会所は、基本的人権尊重の精神に基づき、あらゆる人権問題の解決に向けて、人権教育、啓発活動、文化活動、住民交流活動等を推進するため設置しています。					
施設概要	施設数	65		延床面積		18,326 ㎡

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	6,666 ㎡	中期目標(R7～R16)	10,995 ㎡	実績(第 1 期)	2,992 ㎡※前期 6,507 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	2,117 千円	省エネ設備導入施設数目標	1 件	省エネ設備導入施設数実績	2 件
公共施設の現状分析	<p>ア 地域集会所・農村研修集会施設 市が設置する集会施設の多くは、地元自治会により運営されている。 施設建築当初の補助事業等の制限により、市所有となったものの、施設の機能としては地元所有と市所有の区分はないため、施設の維持管理について負担の公平性を確保する必要がある。</p> <p>イ 教育集会所 福祉の向上、人権啓発及び市民交流の促進を図るために設置し、相談事業・地域福祉事業・啓発事業・市民交流事業・人材育成事業に供している。 近隣に、同じ地域改善対策特別措置法等に基づく対策により設置された人権ふれあいセンター・児童館などの人権尊重等に関わる施設があるところが多い。</p> <p>ウ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・南天田集会所(平成 26 年度:照明 LED 化 1 件) ・東堀集会所(令和 4 年度:照明 LED 化 1 件、断熱工事 1 件、高効率空調導入 1 件)</p>					

再配置の方針	<p>ア 地域集会所・農村研修集会所施設</p> <p>地域バランスを是正し、多機能化を推進するため、地域公民館（コミセン）以外の公設集会施設については、地域合意のもとで、地域に施設を譲渡するとともに、隣接する地域が開放型自治会館として利用できるよう（地域における貸館機能を有する施設として運用できるよう）、維持・更新等に補助制度を設け、地域が地域の施設として管理運営を行っていただけるよう支援する。</p> <p>なお、当該施設が広域避難所となる場合には、譲渡にあたっては施設本来の目的と併せて、防災上の観点も加え必要な支援を検討する。</p> <p>イ 教育集会所</p> <p>公共施設マネジメント基本方針に基づき、児童館他公共施設との複合化や統合について検討し、施設の再編整備を進めるとともに、更新にあたっては規模の適正化に留意し総量削減に努める。</p> <p>教育集会所でおこなっている啓発事業については、必要性や事業主体の検討を行い、必要に応じて継続する。</p>										
関連計画等											

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画
（教育集会所） 12 施設

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価									③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～R6	R7	R8	R9	R10	R11
旭が丘教育集会所	265	惇明	削減	△	△	○	○-1	△	△	◎	◎	◎	用途廃止(除却)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	■			
夕陽が丘教育集会所	290	惇明	削減	△	△	○	○-1	△	△	◎	◎	◎	用途廃止(除却)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	■			
岡ノ三教育集会所	132	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	△	○-2	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・
前田教育集会所	203	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	○	○-1	△	△	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・
庵我教育集会所	244	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	○	◎	○	○-1	△	△	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・
新庄教育集会所	325	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	○-1	△	△	○	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・
小田教育集会所	239	上川口	存続(長寿命化・更新あり)	△	△	○	○-1	△	△	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・
上小田教育集会所	249	上川口	存続(長寿命化・更新あり)	△	△	○	○-1	△	◎	○	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・
一ノ宮教育集会所	254	三岳	削減	○	○	○	△	△	◎	△	△	◎	用途廃止(除却)	令和4年度に旧三岳小学校に教育集会所の機能を移転させた。	・	・	・	・	・	■
三岳教育集会所	1,772	三岳	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	○-1	○-2	◎	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣に集会施設がないため、現在の場所で存続させる。	・	・	・	・	・	・
金山教育集会所	261	金山	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	○	○-1	△	△	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣に集会施設がないため、現在の場所で存続させる。	・	・	・	・	・	・
夜久野町教育集会所	332	下夜久野	存続(長寿命化・更新あり)	◎	△	○	○-1	△	△	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・

（公営住宅(団地)集会所） 7 施設

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
南天田集会所	113	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
広峯団地集会所	99	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
つつじが丘集会所	100	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	統合(存続)	つつじが丘団地の建替えに伴い、集会所の建替も実施する。	・	・	■	・	・	・
向野団地集会所	104	惇明	削減	◎	◎	◎	◎	△	△	◎	○	◎	譲渡	向野団地の廃止に伴い、地元への譲渡を検討する。	・	・	■			
日吉ヶ丘集会所	194	大正	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
秋津が丘団地集会所	100	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	■
西佳屋野集会所	198	雀部	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	△	△	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	南佳屋野団地の集約・建替えに併せて検討を行う。	・	・	・	・	・	・

（地域集会所） 29 施設 （まちづくり推進課所管 14 施設、人権推進室所管 12 施設、大江支所所管 1 施設、高齢者福祉課所管 1 施設、中央公民館所管 1 施設）

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
惇明西集会所	245	惇明	削減	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	◎	◎	△	用途廃止(貸付)	地元自治会での維持管理が困難なため、返還を受け、利活用を検討する。	・	・	・	・	・	■
惇明東公会堂	150	惇明	削減	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	◎	◎	△	用途廃止(貸付)	地元自治会での維持管理が困難なため、返還を受け、貸付による利活用を実施している。	■	■	—	—	—	—
惇明中央集会所	344	惇明	削減	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	◎	◎	△	譲渡	施設を維持管理している地元自治会へ譲渡する。	・	・	・	■		
南羽合集会所	69	昭和	削減	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	譲渡	施設を維持管理している地元自治会へ譲渡する。	・	・	・	■		
昭和東集会所	169	昭和	削減	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	◎	◎	△	譲渡	施設を維持管理している地元自治会へ譲渡する。	・	・	・	・	・	■
昭和集会所	206	昭和	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
本町集会所	171	昭和	削減	◎	◎	◎	◎	○-2	△	◎	◎	△	譲渡	施設を維持管理している地元自治会へ譲渡する。	・	・	・	■		
小谷ヶ丘公民館	157	大正	削減	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	譲渡	施設を維持管理している地元自治会へ譲渡する。	・	■				
内田町けやき集会所	197	大正	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
堀センター	204	大正	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
東堀集会所	150	大正	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	用途廃止(除却)	令和6年度除却済	/	/	/	/	/	/
土師宮町公会堂	156	雀部	削減	◎	◎	◎	◎	○-2	△	○	◎	△	譲渡	施設を維持管理している地元自治会へ譲渡する。	・	・	・	■		
南佳屋野集会所	69	雀部	削減	△	△	△	○-1	△	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	・	・	・	・	・	・
土師総区公民館(雀部公民館)	251	雀部	削減	◎	◎	◎	◎	○-2	△	○	◎	△	譲渡	施設を維持管理している地元自治会へ譲渡する。	・	・	・	・	■	

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
室集会所	123	下豊富	削減	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	○	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	補助金の財産処分制限により、令和12年度以降に譲渡する。
新庄集会所	80	下豊富	-	△	△	△	△	△	△	○	◎	◎	用途廃止(検討)	地元自治会からの返還を受け、遊休施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
観音寺公会堂	288	遷喬	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
下天津公民館	110	下川口	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
長田北集会所(公民館)	256	下六人部	-	△	△	△	△	◎	◎	◎	◎	◎	用途廃止(検討)	地元自治会からの返還を受け、遊休施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
長田南公民館	282	下六人部	削減	△	△	△	○-1	◎	◎	◎	◎	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会等へ譲渡を行う。	.	.	■			
大野公民館	107	下六人部	削減	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	譲渡	施設を維持管理している地元自治会へ譲渡する。	■
喜多公民館	100	三岳	-	◎	△	◎	○-1	○-2	△	△	○	◎	用途廃止(検討)	代替施設があるため、返還を受け、利活用を検討する。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
一ノ宮集会所	119	三岳	削減	△	△	△	△	△	△	△	◎	◎	用途廃止(除却)	老朽化により危険性を判断して除却を行う。	■
中佐々木公民館	83	三岳	削減	◎	◎	◎	△	△	△	△	○	◎	用途廃止(除却)	施設の利用ニーズが低く、市有地でないことから、除却する。	.	■				
鴨野町集会所	219	金谷	削減	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	譲渡	施設を維持管理している地元自治会へ譲渡する。	.	■				
行積集会所	85	金山	削減	△	△	△	△	△	△	△	○	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会と引き続き、譲渡に向け協議を行う。	■
桔梗が丘集会所	145	成仁	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
後野集会所	82	川合	削減	△	◎	△	△	△	△	◎	○	◎	用途廃止(除却)	老朽化により、危険性を判断して除却を行う。	■
中夜久野集会所	167	中夜久野	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
新町コミュニティ会館	416	美河	存続(長寿命化・更新あり)	△	△	○	○-1	◎	◎	○	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。
舟越会館	899	美河	-	○	○	○	△	△	△	○	◎	○	用途廃止(検討)	施設老朽化が激しく用途廃止後の利活用可能性が不明であるため検討とする。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
千原共同集会所	217	美河	削減	◎	◎	◎	○-1	◎	◎	○	○	○	用途廃止(除却)	建物の返還を受け、除却を行う。	.	■				
金屋共同集会所	148	美鈴	-	△	△	△	△	○-1	◎	△	◎	◎	用途廃止(検討)	用途廃止済み。遊休施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
金屋ふれあいセンター	496	美鈴	存続(長寿命化・更新あり)	△	△	○	○-1	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣に集会施設がないため、現在の場所で存続させる。
俊明多目的集会所	238	美鈴	削減	◎	◎	△	◎	○-1	◎	△	◎	○	用途廃止(貸付)	令和6年8月より貸付	■	■	—	—	—	—
有路上公民館	146	有仁	-	△	○	△	△	△	△	△	◎	◎	用途廃止(検討)	令和4年に有路上公民館が休館したため、施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
昭和集会所	156	有仁	存続(長寿命化・更新あり)	△	△	○	△	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。

(農村研修集会施設)13 施設

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の 偏り	同種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～ R6	R7	R8	R9	R10
定住促進センター庵我会館	720	庵我	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
構造改善センター戸田会館	166	遷喬	削減	○	○	△	○-2	◎	◎	◎	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会等へ譲渡を行う。	.	■				
多目的集会施設下川口会館	358	下川口	削減	○	◎	△	○-2	△	◎	△	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会等へ譲渡を行う。	.	.	■			
農村婦人の家上豊富会館	391	上豊富	削減	○	◎	△	○-2	△	◎	○	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会と引き続き、譲渡に向けて協議を行う。	■
多目的集会施設上六人部会館	527	上六人部	削減	○	◎	△	○-2	◎	◎	△	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会と引き続き、譲渡等に向けて協議を行う。	■
多目的集会施設中六人部会館・地域活性化拠点施設	1,265	中六人部	存続(長寿命化・更新なし)	○	◎	△	○-2	◎	◎	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	集会施設機能と介護・福祉人材養成センター機能の複合施設とする。
多目的研修集会施設三岳会館	383	三岳	削減	○	△	○	△	△	△	△	◎	用途廃止(除却)	近隣公共施設と機能統合し、旧三岳小学校に機能を集約したため、除却する。	.	■				
多目的集会施設金谷会館	728	金谷	-	○	○	○	○-2	◎	◎	△	◎	用途廃止(検討)	現在、施設を使用している地元自治会と合意形成を図る。	⇒	⇒	⇒	⇒	■	.
多目的集会施設金山会館	151	金山	存続(長寿命化・更新なし)	○	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	書庫として活用する。
菟原基幹集落センター	441	菟原	削減	○	◎	△	○-2	◎	◎	△	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会と引き続き、譲渡等に向けて協議を行う。	■
川合集落センター	447	川合	削減	○	○	△	○-2	△	△	◎	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会と引き続き、譲渡等に向けて協議を行う。	■
多目的研修集会施設夜久野町構造改善会館	301	上夜久野	削減	○	◎	○	○-1	◎	◎	△	◎	用途廃止(貸付)	令和2年度に用途廃止し、民間事業者に貸付を行う。	.	■	—	—	—	—
夜久野町畑集落センター	172	下夜久野	-	○	○	○	△	△	◎	○	◎	用途廃止(検討)	平成31年度をもって用途廃止済み。施設の利活用を図り、なければ除却を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
有路下多目的集会所	181	有仁	削減	○	○	○	△	△	◎	△	○	用途廃止(除却)	令和元年度をもって用途廃止済み。解体予定。	.	.	■			

(その他集会施設)4 施設(教育総務課所管 1 施設、人権推進室所管 3 施設)

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
丘老人施設	171	惇明	削減	△	△	△	△	○-1	◎	◎	◎	◎	用途廃止(除却)	近隣公共施設との機能統合も視野に入れ、方向性について利用団体等との協議を進める。	.	.	■			
一ノ宮老人施設	70	三岳	削減	△	△	△	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会等へ譲渡を行う。	.	.	■			
行積老人集会所	108	金山	削減	△	△	△	△	△	◎	△	○	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会と引き続き、譲渡に向け協議を行う。	■
旧青少年センター	959	美鈴	-	△	△	△	△	△	△	△	○	◎	用途廃止(検討)	施設の老朽化度や利用状況等を勘案しながら、施設のあり方について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■

5 医療施設

(1) 診療施設

ア 施設の概要

施設の目的	診療所は、医療水準を向上させ、民間医療機関の進出が期待できない地域における医療を確保します。医療サービスを提供することに加え、保健(健康づくり)、介護、福祉サービスまでを総合的、一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の拠点として活動することを目指しています。				
施設概要	施設数	11	延床面積	2,311 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	352 ㎡	中期目標(R7～R16)	462 ㎡	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 概ね中学校区に内科診療所が 1 箇所以上あることが望ましいと考えている。 イ 公設公営である国民健康保険診療所 1 箇所及び公民連携(施設貸付)による公設民営診療所 8 箇所(現在開設中の診療施設 3 箇所を含む)を保有しているが、施設の老朽化が著しいものや、医師の確保が困難なため休診している診療所も存在する。 ※福知山市休日急患診療所を除く ウ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア 人口減少、近隣医療施設の有無、交通アクセスの有無等を勘案した上で、必要最低限の維持・更新に留めるものとする。 イ 休診中の施設については、地域と連携を図りながら今後のあり方を検討する。 ウ 用途廃止をした施設については、跡地の利活用を促進する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配 置 の 偏 り	同 種 施 設	民 間 活 用	利 用 状 況	老 朽 化	耐 震 性	将 来 需 要	土 砂 災 害 警 戒 区 域			（洪水浸水想定区域 （想定最大規模）	～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
川口診療所・医師住宅・川口歯 科診療所	557	上川口	存続(長寿命化・ 更新あり)	○	○	○	◎	○-2	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・ 更新なし)	近隣の医療施設の状況及び利用状況を勘案し存続 する。	・	・	・	・	・	・
三岳診療所	94	三岳	削減	○	○	○	△	△	△	△	△	◎	用途廃止(除却)	平成30年4月に診療所を閉鎖。令和7年度に除却 を行う。	・	■				
旧金谷診療所	116	金谷	削減	○	○	◎	△	○-2	△	△	△	◎	用途廃止(除却)	地元からの承諾を受け、令和元年度に廃止。施設の 老朽化が著しいため関係各所と協議のうえ除却を 行う。	・	・	・	・	・	■
国民健康保険 雲原診療所	172	公誠	存続(長寿命化・ 更新あり)	◎	◎	◎	△	○-2	△	△	◎	◎	存続(長寿命化)	施設の設置目的により存続する。	・	・	・	■	・	・
菟原診療所	262	菟原	存続(長寿命化・ 更新なし)	△	△	○	△	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・ 更新なし)	令和2年3月より休診しており、医師を募集中。近 隣の医療施設の状況を勘案し存続する。	・	・	・	・	・	・
三和診療所医師住宅(方ヶ谷 ハウス)	72	菟原	削減	◎	○	△	△	◎	◎	△	◎	◎	用途廃止(売却)	現在購入者を公募中である。	・	・	・	・	・	■
三和歯科診療所	143	細見	存続(長寿命化・ 更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・ 更新なし)	近隣の医療施設の状況及び利用状況を勘案し存続 する。	・	・	・	・	・	・
三和診療所・デイサービスセン ター	468	細見	存続(長寿命化・ 更新あり)	△	△	○	○-1	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・ 更新なし)	近隣の医療施設の状況を勘案し存続する。	・	・	・	・	・	・
川合診療所	184	川合	削減	△	△	○	△	○-1	◎	◎	◎	◎	用途変更	平成26年12月に診療所を閉鎖。地元からの要望 を受け、関係各所と協議のうえ、集会施設へ用途変 更を行う。	・	■	・	・	・	・
旧医師住宅	70	美河	削減	△	△	○	△	△	◎	○	◎	◎	用途廃止(除却)	有路診療所の廃止後、利用なし。関係各所と協議の うえ、利活用または除却を行う。	・	・	・	・	・	■
旧国民健康保険新大江病院附 属有路診療所	171	有仁	-	△	△	○	△	○-2	◎	△	◎	○	用途廃止(検討)	平成27年3月に診療所を閉鎖。関係各所と協議の うえ、利活用に向けて検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■

6 子育て支援施設

(1) 幼稚園

ア 施設の概要

施設の目的	福知山市立幼稚園は、法律の規定に基づき設置し、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものを備えます。安定した情緒の下で幼児が十分に自己を発揮し、発達に必要な体験を得ることができるよう、幼児期にふさわしい生活を展開するための物的・空間的環境を構成します。				
施設概要	施設数	3	延床面積	2,331 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	園児数推計により計画見直し	実績(第 1 期)	2,742 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	—	省エネ設備導入施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 再編を行い、6 園を 3 園として平成 27 年度から 3 年保育を開始したところである。開始 5 年は定員を上回る希望者数があったが、今後は出生数の減少により児童数は緩やかに減少していくと見込まれる。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア 就学前教育のニーズに応じ、適正規模を鑑みて再配置を検討する。 イ 不足する 0～2 歳児の保育ニーズの受け皿確保を行うため、統合やこども園化について検討する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価									③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～R6	R7	R8	R9	R10	R11
福知山幼稚園	858	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。	・	・	・	・	・	■
昭和幼稚園	878	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	◎	○-2	◎	◎	◎	○	存続(長寿命化)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。	・	・	・	・	・	■
成仁幼稚園	595	成仁	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	○-2	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。	・	・	・	・	・	■

(2) こども園

ア 施設の概要

施設の目的	認定こども園は、法律の規定に基づき、教育・保育の必要な子どもの教育・保育を一体的に行い、その健全な親身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設です。入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に推進することに最もふさわしい生活の場を提供しています。				
施設概要	施設数	3	延床面積	2,186 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	園児数推計により 計画見直し	実績(第 1 期)	0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 保育園 7 園のうち旧三町にある 3 園を、幼児教育の選択肢を増やすため、令和 3～4 年度にかけてこども園化した。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア こども園化により旧三町の保育・教育ニーズに応えるため、適切に維持管理し運営していく。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
三和こども園	738	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。
夜久野こども園	625	下夜久野	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	△	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。
げん鬼こども園	823	美河	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。

(3) 保育園

ア 施設の概要

施設の目的	保育園は、児童福祉法 39 条の規定に基づき、保育の必要な子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設です。入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場を提供しています。					
施設概要	施設数	12	延床面積	5,049 ㎡		

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	909 ㎡	中期目標(R7～R16)	2,272 ㎡	実績(第 1 期)	275 ㎡※前期 1,031 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	—	省エネ設備導入施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 出生数の減少など、推計児童人口が減少傾向にあり、児童数と保育園ニーズは緩やかに減少していく見込みである。 保育園 7 園のうち旧三町にある 3 園は、幼児教育の選択肢を増やすため、令和 3～4 年度にかけてこども園化した。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア 閉鎖した保育園施設は、地域の理解を得ながら、再整備または廃止を進める。 イ 民営化が可能な保育園について、事業の民営化と施設の譲渡を促進する。 ウ 建物の老朽化や入園者の実態、待機児童・保留児童の状況などを勘案し、今後施設のあり方を検討する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価									③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の 偏り	同種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
保育園倉庫(みのり保育園)	44	下豊富	削減	◎	◎	○	△	△	△	○	◎	◎	用途廃止(貸付)	民間保育園に賃貸借しているが、その他の利活用の方針が決まっていない。	■	■	—	—	—	—
天津保育園	623	下川口	存続(長寿命化・更新あり)	○	◎	○	◎	△	◎	△	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。	・	・	・	・	・	・
上六人部保育園	557	上六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。	・	・	・	・	・	■
上川口保育園	580	上川口	存続(長寿命化・更新なし)	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	統合(存続)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。	・	・	・	■	・	・
旧上川口保育園	286	上川口	-	○	◎	○	△	△	△	○	◎	◎	用途廃止(検討)	利活用の方針が決まっていない。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
金谷保育園	542	金谷	-	○	◎	○	◎	△	△	△	◎	◎	統合(廃止)	整備方針及び保育の量の見込みに基づき存続する。	・	・	・	■	・	・
菟原保育園	554	菟原	-	◎	◎	○	△	△	△	△	◎	◎	用途廃止(検討)	利活用の方針が決まっていない。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
川合保育園	567	川合	削減	◎	◎	○	△	△	◎	◎	◎	◎	譲渡	資産活用課による民間提案制度において事業者を募集する。	・	・	・	・	・	■
旧上夜久野保育園	575	上夜久野	-	◎	◎	○	△	△	△	△	◎	◎	用途廃止(検討)	利活用の方針が決まっていない。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
旧中夜久野保育園	342	中夜久野	削減	◎	◎	○	△	△	△	△	○	◎	譲渡	資産活用課による民間提案制度において事業者を募集する。	・	・	・	・	・	■
旧河守保育園倉庫	68	美河	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	△	△	△	○	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	倉庫として活用しており、必要な施設である。	・	・	・	・	・	・
旧有路保育園	312	有仁	-	◎	◎	○	△	△	△	△	◎	◎	用途廃止(検討)	利活用の方針が決まっていない。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■

(4) 児童施設

ア 施設の概要

施設の目的	児童施設は児童福祉法第 40 条に規定する児童厚生施設で、差別を見逃さず、許さない、子どもの育成と健全な遊びや体験の場を提供することで、豊かな情操と感性を身に付けることを目的とするとともに、子育て支援の地域拠点として、子育て世代の交流や相談の場を提供しています。					
施設概要	施設数	10	延床面積	4,346 ㎡		

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	145 ㎡	中期目標(R7～R16)	652 ㎡	実績(第 1 期)	463 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	8 件	省エネ設備導入施設数実績	3 件
公共施設の現状分析	ア 子どもの人材育成、子育て支援、児童虐待防止の地域拠点施設として運営しており、乳幼児とその保護者、児童が利用している。 イ 地域改善対策特別措置法等に基づく対策により、近隣には教育集会所・人権ふれあいセンターなどの人権尊重等に関わる施設がある。 ウ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・堀児童館(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件) ・菟原児童館(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件) ・額田児童館(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件)					
再配置の方針	ア 児童の健全育成、子育て支援の重要な拠点施設となっているが、施設の利用状況の検証を踏まえ、近隣公共施設(人権ふれあいセンター等)との複合化や統合について検討し、施設の再整備を進めるとともに、施設の更新にあっては規模の適正化に留意し、総量削減に努める。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			（洪水浸水想定区域 （想定最大規模）	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
丘児童センター	671	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	統合(存続)	「第2期 福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもの居場所・地域拠点として、今後5年間の存続を図りながら、今後は周辺施設との集約化を検討する。 複数年実施(令和9年までに完了)	・	・	・	■	・	・
堀児童館	449	大正	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化)	「第2期 福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもの居場所・地域拠点として、今後5年間の存続を図りながら、今後は周辺施設との集約化を検討する。 複数年実施(令和11年までに完了)	・	・	・	・	・	■
南佳屋野児童館	537	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	「第2期 福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもの居場所・地域拠点として、今後5年間の存続を図る。 複数年実施(令和11年までに完了)	・	・	・	・	・	■
前田児童館	399	雀部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	「第2期 福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもの居場所・地域拠点として、今後5年間の存続を図る。 複数年実施(令和11年までに完了)	・	・	・	・	・	■
庵我児童館	412	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	△	存続(長寿命化)	「第2期 福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもの居場所・地域拠点として、今後5年間の存続を図る。 複数年実施(令和11年までに完了)	・	・	・	・	・	■
下六人部児童センター	713	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化)	「第2期 福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもの居場所・地域拠点として、今後5年間の存続を図る。 複数年実施(令和11年までに完了)	・	・	・	・	・	■
十三丘児童施設	145	上川口	削減	△	△	△	△	△	◎	○	○	◎	譲渡	現在、施設を使用している地元自治会と引き続き、譲渡に向け協議を行う。	・	・	・	・	・	■
菟原児童館	350	菟原	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化)	利用者は少ないが、三和地域に他の児童厚生施設が無い。「第2期 福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもの居場所・地域拠点として、状況把握しながら、今後5年間の存続を図る。 複数年実施(令和11年までに完了)	・	・	・	・	・	■
額田児童館	364	下夜久野	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	「第2期 福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもの居場所・地域拠点として、今後5年間の存続を図りながら、今後は周辺施設との集約化を検討する。 複数年実施(令和11年までに完了)	・	・	・	・	・	■
南有路児童館	306	有仁	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化)	児童の利用者は少ないが、大江地域に他の児童厚生施設が無いことと、「第2期 福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもの居場所・地域拠点として存続する。今後は周辺施設との集約化を検討する。 複数年実施(令和11年までに完了)	・	・	・	・	・	■

(5) 放課後児童クラブ教室など

ア 施設の概要

施設の目的	福知山市放課後児童クラブでは、保護者が就労等で昼間家庭にいない児童に対し、保護者の代わりに、放課後や学校休業中に安心して遊び、生活できる場を提供するとともに、健全育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援します。					
施設概要	施設数	7		延床面積		3,252 ㎡

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	957 ㎡	中期目標(R7～R16)	976 ㎡	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	1 件	省エネ設備導入施設数実績	1 件
公共施設の現状分析	ア 市中心部の大規模校と周辺部の小規模校では、状況が大きく異なる。周辺部の小規模校では、児童数が減少傾向にあり、校舎(教室)に余裕もあり、空き教室などを利用しているが、大規模校では校舎(教室)に空きは無く、今以上の教室の利用は難しい状況である。 このため、学校の協力を得ながら既存施設の利用を最大限計画しつつ、専用のクラブ棟を整備する必要もある。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・大江放課後児童クラブ(令和 4 年度:照明 LED 化 1 件、高効率空調導入 1 件)					
再配置の方針	ア 学校施設や既存の公共施設を活用した設置を基本とし、サービス水準や運営形態の統一化に留意した施設の適正な再配置を進める。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
昭和放課後児童クラブ	318	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	△	◎	存続(更新)	児童クラブ事業を運営している。	・	・	・	■		
大正放課後児童クラブ	957	大正	削減	◎	◎	○	◎	△	△	◎	◎	◎	用途廃止(除却)	令和6年度、同敷地内に新築計画、その後、既存施設については解体除却予定。	・	■				
庵我放課後児童クラブ	510	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	○-2	◎	○	◎	○	存続(長寿命化・更新なし)	児童クラブ事業を運営している。	・	・	・	・	・	・
修斉放課後児童クラブ	238	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	児童クラブ事業を運営している。	・	・	・	・	・	・
遷喬放課後児童クラブ	460	遷喬	-	◎	◎	○	◎	△	◎	◎	◎	◎	用途廃止(検討)	令和6年7月8日から新棟で児童クラブを運営中、旧施設の利活用については今後検討する。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
成仁放課後児童クラブ	269	成仁	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	児童クラブ事業を運営している。	・	・	・	・	・	・
大江放課後児童クラブ	500	美鈴	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	児童クラブ事業を運営している。	・	・	・	・	・	・

7 保健・福祉施設

(1) 保健福祉センター

ア 施設の概要

施設の目的	福知山市保健福祉センターは、市民の健康の保持、増進及び保健福祉の推進を図り、保健福祉の相談及び助言、保健福祉サービスの提供及び調整、住民の健康づくりのための各種事業を行います。				
施設概要	施設数	3	延床面積	1,235 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	494 ㎡	実績(第 1 期)	1,515 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	186 千円	省エネ設備導入 施設数目標	1 件	省エネ設備導入 施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 北部保健福祉センターについては、施設機能を存続しつつ、社会福祉協議会や地域協議会の事務局など、複合的な施設利用をしている。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア 施設余剰部分を他の(施設)機能に用途変更し、施設の機能複合化を進めることで、公共施設総量の削減に努める。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配 置 の 偏 り	同 種 施 設	民 間 活 用	利 用 状 況	老 朽 化	耐 震 性	将 来 需 要	土 砂 災 害 警 戒 区 域			洪 水 浸 水 想 定 区 域 (想 定 最 大 規 模)	～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
中央保健福祉センター別館	144	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	倉庫として用途変更しており、今後も継続利用する。	・	・	・	・	・	・
旧中央保健福祉センター(休日急患診療所)	48	昭和	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	△	用途廃止(貸付)	普通財産化し、貸付予定	・	■	—	—	—	—
北部保健福祉センター	1,043	美河	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	△	存続(長寿命化)	北部保健福祉センターとして継続利用する。	・	■	・	・	・	・

(2) 老人憩いの家

ア 施設の概要

施設の目的	老人憩いの家は、老人福祉法に基づき、老人に対し、教養の向上、レクリエーション等のための場を提供し、老人の心身の健康の増進を図ります。				
施設概要	施設数	1	延床面積	185 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	185 ㎡	中期目標(R7～R16)	185 ㎡	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数割合	—	省エネ設備導入 施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 本用途としては市内唯一の施設であるが、利用者が施設の存する地域住民に限定されており、また、近隣に類似機能を持つ公共施設が存在する。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア 地域合意のもとで、地域に施設を譲渡するとともに、複数の地域が開放型自治会館として利用できるよう(地域における貸館機能を有する施設として運用できるよう)、維持・更新等に補助制度を設け、地域が地域の施設として管理運営を行っていけるよう支援する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
夜久野町老人憩いの家	185	下夜久野	削減	○	○	○	○-2	◎	◎	○	○	◎	譲渡	同地域にある他の市施設と一体的な地元譲渡を目指す。	■

(3) その他の社会福祉施設

ア 施設の概要

施設の目的	社会福祉施設は、お年寄り、子どもや障害のある人に福祉サービスを提供する施設であり、これらの方々が自立してその能力を発揮できるよう、必要な日常生活の支援、技術の指導などを行います。				
施設概要	施設数	4	延床面積	4,574 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	2,474 ㎡	中期目標(R7～R16)	2,745 ㎡	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 549 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	1 件
公共施設の現状分析	ア 高齢者福祉センター等 市域(市内全域)を対象とした施設であり、需要も高いが、民間事業者による運営が可能な施設である。 イ 総合福祉会館 旧市を対象とした施設であって、稼働状況も良好であるが、民間事業者による運営が可能な施設である。 また、平成 30 年度から令和元年度にかけて、耐震工事と内装改修を実施した。老朽化した施設であるが、公共性の高さを鑑みて、機能を を拡充して継続設置する。 ウ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・総合福祉会館(LED ブラケット 令和元年度:4 件、LED 蛍光灯 令和元年度:321 件、LED 誘導灯 令和元年度:12 件、LED 非常照明 令和元年度:48 件、LED 階段灯 令和元年度:10 件、LED 緊急時回転灯 令和元年度:31 件、令和 2 年度:照明 LED 化 1 件)					
再配置の方針	ア 事業継続に係る課題を整理し、施設の維持・更新等に係る補助制度等を検討した上で、民間事業者への譲渡を進める。 イ 利用状況の低下及び施設の大規模改修が想定されることから、地元説明、利用者合意のもと統合・廃止とする。 ウ 市域を対象とした施設であって、公共性が著しく高い施設(民間事業者による運営が可能な施設)であるため、機能を拡充し、施設を継続 設置する。令和 6 年度に現指定管理者との契約が終了予定。令和 7 年度から指定管理者となる事業者と譲渡について協議を進める。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価									③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の 偏り	同種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
総合福祉会館	1,904	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	△	◎	○-2	○	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ現行のまま存続する。令和元年の耐震工事に合わせて改修を完了。	・	・	・	・	・	・
高齢者福祉センター	1,382	下六人部	削減	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	譲渡	現指定管理期間終了とともに譲渡を目指す。	・	・	・	・	・	■
三和町高齢者生活福祉センター	1,092	細見	削減	○	◎	○	○-2	◎	◎	△	○	◎	譲渡	現指定管理期間終了とともに譲渡を目指す。	・	・	・	・	・	■
高齢者生産活動センター	196	美河	-	○	○	○	△	○-1	◎	○	◎	○	用途廃止(検討)	施設老朽化が激しく用途廃止後の利活用可能性が不明であるため検討とする。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■

8 産業系施設

(1) 産業振興施設

ア 施設の概要

施設の目的	産業振興施設は、商工業振興また産業の発展並びに雇用の促進、中心市街地活性化等を図るための各事業において、事業の更なる充実と向上を図ります。					
施設概要	施設数	16	延床面積	15,740 ㎡		

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	1,716 ㎡	中期目標(R7～R16)	3,148 ㎡	実績(第 1 期)	782 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	1,773 千円	省エネ設備導入施設数目標	—	省エネ設備導入施設数実績	1 件
公共施設の現状分析	ア 市の直営及び貸館施設として、施設利用をしているが、一部建物の老朽化及び施設全体利用がされていない施設もある。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・研磨工業所・里の駅みたけの貸付 など ・福知山地方卸売市場(令和 4 年度:照明 LED 化 1 件)					
再配置の方針	ア 事業継続に係る課題を整理し、施設の維持・更新等にかかる補助制度等を検討したうえで、民間事業者へ譲渡と廃止を検討する。 イ 施設の維持や更新にあつては、施設規模の最適化に留意し、施設総量の削減に努める。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価									③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置 の偏り	同 種 施設	民 間 活 用	利 用 状 況	老 朽 化	耐 震 性	将 来 需 要	土 砂 災 害 警 戒 区 域	洪水 浸 水 想 定 区 域 (想 定 最 大 規 模)			～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
商工会館	1,645	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	○-2	△	△	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	商工業振興政策を推進するにあたり、重要な施設であり、存続させる。築40年以上となっており、長期的に建替え等検討する。	・	・	・	・	・	・
福知山地方卸売市場	4,226	昭和	削減	◎	◎	○	○-1	○-2	△	◎	◎	△	用途廃止(貸付)	新たな開設者等に令和5年度から貸付を行っている。(5年間)	■	■	—	—	—	—
労働会館	236	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	存続(更新)	築40年以上であり、労働政策を推進するにあたり、本市唯一の施設である。	・	・	・	・	・	■
シルバー人材センター	231	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	築40年未満であり、施設維持管理に重大な支障が生じていない。	・	・	・	・	・	・
シルバーワークプラザ	136	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	築40年未満であり、施設維持管理に重大な支障が生じていない。	・	・	・	・	・	・
食肉センター	694	下川口	削減	◎	◎	◎	△	○-1	◎	△	◎	◎	用途廃止(除却)	令和3年3月31日で運営を休止した。施設の閉鎖等に関して、京都府や施設を共同運営している綾部市、宮津市、舞鶴市と協議を進めている。	・	・	・	・	■	
家畜市場	3,240	下川口	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	◎	○-2	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	市内及び近隣の畜産農家にとって、仔牛の売買の場として効果的な施設である。	・	・	・	・	・	・
福知山市企業交流プラザ	1,605	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	○-2	△	△	◎	◎	◎	存続(更新)	築50年が経過し、老朽化が進む中で、令和5年度に福知山市企業交流プラザあり方検討会を設置し、建替えを検討している。	・	・	・	・	・	■
研磨工業所	426	下六人部	削減	△	◎	△	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	譲渡	現在、施設を使用している事業者と引き続き、譲渡に向け協議を行う。	・	■				
研磨工業所(普通)	400	下六人部	削減	△	◎	△	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	譲渡	現在、施設を使用している事業者と引き続き、譲渡に向け協議を行う。	・	■				
里の駅みたけ	168	三岳	削減	○	◎	△	○-1	◎	◎	△	△	◎	用途廃止(貸付)	指定管理制度を廃止し、令和2年度より民間事業者へ貸し付けている。今後も継続して貸付ける。	■	■	—	—	—	—
三和町農業振興センター	903	細見	-	◎	◎	○	◎	○-2	◎	△	◎	◎	用途廃止(検討)	用途廃止を検討中	⇒	⇒	⇒	⇒	■	・
中田共同作業所	458	上夜久野	削減	◎	△	○	△	○-1	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	借受を検討されている事業者がいるため、貸付ける。	・	■	—	—	—	—
稚魚孵化生産施設	196	下夜久野	削減	◎	◎	◎	△	◎	◎	○	△	◎	用途廃止(除却)	施設利用していた団体が解散をしたため、受け手もなく除却を行うのが望ましい。	・	・	・	・	・	■
大江町地域振興センター	933	美河	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	△	存続(長寿命化)	京都丹後鉄道大江駅の機能がある。	・	・	・	・	・	■
福知山鉱山坑廃水処理場	245	美河	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	坑廃水流出対策検討業務(令和6年)にて早急に大規模修繕する必要はないことを確認したため。	・	・	・	・	・	・

(2) 農業施設(共同作業所)

ア 施設の概要

施設の目的	地域住民が主体的に行う活動の拠点施設として、地域の活性化、都市農村交流等への役割を果たします。					
施設概要	施設数	36	延床面積	4,068 ㎡		

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	4,068 ㎡	中期目標(R7～R16)	4,068 ㎡	実績(第 1 期)	2,915 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	—	省エネ設備導入施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 産業系の施設のうち農業共同利用施設は、農業という産業の側面から地域の環境改善を目的に市の施設として設置され、今日に至るまでに他の事業も相まって地域の環境改善に一定の成果を上げてきた。 イ 一方で農業共同利用施設は、農業経営者のみが利用する施設であり、関係農業者団体に譲渡を行っても、地域農業の振興という点では事業趣旨を損なうことがないと考えられる。 ウ また、農業は収益性のある産業であることから、その基盤となる施設を市の財産として保有することは本来の姿ではないと考えられ、公共性の有無や民間の農業施設との公平性の観点から判断する。 エ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア 施設の継続利用により事業効果の見込まれる施設については、管理者に譲渡する。 イ 施設の老朽化等により継続利用の見込めない施設については、廃止する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価									③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置 の偏り	同 種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
旭が丘共同農作業所	62	惇明	削減	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	用途廃止(売却)	施設利用者もなく、除却を行うのが望ましい。(令和7年3月まで適化法適用期間内)	.	■				
東堀農機具保管庫	60	大正	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	△	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
前田共同農作業所	100	雀部	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	◎	◎	用途廃止(除却)	施設は老朽化していて、施設利用についても減少しているため、除却を行うことが望ましい。	.	.	.	■		
下猪崎共同農作業所	185	庵我	削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	譲渡	令和6年度譲渡済	/	/	/	/	/	/
下猪崎共同作業所	91	庵我	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
下猪崎堆肥施設	84	庵我	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
新庄農機具保管庫⑥・⑦	36	下豊富	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	◎	△	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	.	.	.	■		
新庄農作業所	69	下豊富	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	◎	△	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
新庄農機具保管庫⑨	112	下豊富	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	◎	△	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	.	.	.	■		
石本農作業所	48	下川口	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	△	用途廃止(除却)	施設は老朽化していて、施設利用についても減少しているため、除却を行うことが望ましい。	.	.	.	■		
波江農機具保管庫	60	下川口	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	△	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
長田北農機具保管庫	120	下六人部	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	○	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
長田南農作業所	120	下六人部	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	○	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■	
長田北格納庫	64	下六人部	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	○	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
長田花卉温室	945	下六人部	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	○	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	.	.	.	■		
長田共同畜舎(岩間)	136	下六人部	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	○	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
十三丘共同作業所	140	上川口	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	○	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■	
小田農機具保管庫兼農作業所	107	上川口	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	△	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
十三丘共同農作業所	65	上川口	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	○	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■	
十三丘農機具保管庫	38	上川口	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	○	○	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■	
一ノ宮農機具保管庫	36	三岳	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
一ノ宮農作業場	90	三岳	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■	
一ノ宮共同作業所	30	三岳	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■	
宮垣共同作業所	40	金谷	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	.	.	.	■		
大見長祖農機具保管庫	40	金谷	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	△	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
宮垣農機具保管庫	18	金谷	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
大見長祖共同作業所	53	金谷	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	△	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
菟原下二共同集荷場	110	菟原	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	.	.	.	■		
菟原下二共同作業場	217	菟原	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
菟原下二農機具保管庫	72	菟原	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	.	.	.	■		
後野共同作業所	115	川合	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
後野農機具保管庫	28	川合	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	○	◎	用途廃止(除却)	人権推進室所管の「後野集会所」と一体利用するため、所管を変更した。	■
中田作業所(中田)	169	上夜久野	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■	
直見共同作業所	268	上夜久野	削減	◎	△	○	△	○-1	◎	△	◎	◎	用途廃止(除却)	共同作業所として利用されていない。地元自治会に譲渡引受の意向なし。	■
中田農機具保管庫	79	上夜久野	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■
中田作業所(前田)	184	上夜久野	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	◎	譲渡	施設は老朽化しているが施設利用があり、譲渡予定	■	
新町農業作業所	62	美河	削減	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	譲渡	施設は老朽化しているが地元にて施設利用があり、譲渡予定	.	■				

9 観光・宿泊(研修)施設

(1) 観光施設

ア 施設の概要

施設の目的	福知山の観光及び関係事業の推進並びに発展を目的とし、観光事業を充実させ、観光客の誘致を図ります。				
施設概要	施設数	17	延床面積	8,682 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	1,302 ㎡	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	—	省エネ設備導入施設数実績	4 件
公共施設の現状分析	ア 地域の観光資源や活性化の観点から、単純に利用率による継続性の判断は困難なものの、周辺公共施設や類似民間施設との競合性や採算性を確認しながら、公共施設としての必要性を明確にした上で、施設の維持・更新の優先度を判断し、再配置(民間譲渡・廃止を含む。)を推進する必要がある。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・市営福知山駅東駐輪場(平成 28 年度:照明 LED 化 1 件) ・福知山城公園観光駐車場(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件) ・御霊公園福知山パーキング(平成 31 年度:照明 LED 化 1 件) ・御霊公園北側歩道アーケード(平成 31 年度:照明 LED 化 1 件) ・ファームガーデンやくの 農林水産物処理加工施設(やくの花あずき館)の貸付 など					
再配置の方針	ア 将来において、利用率の改善が見込めず、採算性の著しく低い施設にあつては廃止を原則とする。 イ 公共施設としての必要性を明確にする中で、用途廃止した施設で、民間事業者による活用が見込める施設については、譲渡などの検討を行う。 ウ 新たな目標に関する取組に留意した方針 バンガロー村については将来性を考慮し、利用を休止した。今後について検討していく。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			（洪水浸水想定区域 （想定最大規模）	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
市営福知山駅東駐輪場	146	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	本施設は指定管理者により管理運営されており、現時点で問題なく使用されている。福知山駅の利用者や周辺の高校生等の利用者からみても必要な施設であり、土地所有者であるJR西日本との協定から、市が管理運営することとなっているため、存続とする。	・	・	・	・	・	・
福知山城公園観光駐車場	56	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	観光施設が周辺にあり必要であるため存続する。	・	・	・	・	・	・
御霊公園福知山パーキング	4,447	惇明	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	周辺施設の集客のため、重要な施設であり、存続させる。築40年未満であるが、長期的に長寿命化等検討する。	・	・	・	・	・	・
御霊公園北側歩道アーケード	318	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	広小路周辺のまちなか観光等に資する施設であり、施設維持管理に重大な支障が生じていない。	・	・	・	・	・	・
福知山城憩いの広場	33	大正	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	福知山城周辺エリアの魅力向上に重要な施設であり、施設維持管理に重大な支障が生じていない。	・	・	・	・	・	・
長安寺公園憩いの家	488	下豊富	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	△	△	△	○	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	維持管理に努める。今後、施設の利用状況や建物の老朽化、設備の故障等により施設の運営や維持が難しくなる場合は廃止を検討する。	・	・	・	・	・	・
ファームガーデンやくの 総合交流ターミナル施設(ほっこり館)	1,259	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度にプラン案を策定	・	・	・	・	・	・
ファームガーデンやくの その他付属施設	313	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度にプラン案を策定	・	・	・	・	・	・
ファームガーデンやくの 研修センター(やくの一道庵)	131	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度にプラン案を策定	・	・	・	・	・	・
ファームガーデンやくの 地域食材供給施設(やくの本陣)	325	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度にプラン案を策定	・	・	・	・	・	・
ファームガーデンやくの 農林水産物処理加工施設(やくの花あずき館)	276	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度にプラン案を策定	・	・	・	・	・	・
ファームガーデンやくの 展示販売用温室(やくのペゴニア園)	687	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度にプラン案を策定	・	・	・	・	・	・
元伊勢観光センター	115	美鈴	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	○-2	○-1	◎	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	地域活性化の施設として、必要不可欠であるため存続する。	・	・	・	・	・	・
大江山鬼獄稲荷神社休憩所	40	美鈴	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	丹後天橋立大江山国定公園として京都府が整備した施設である。	・	・	・	・	・	・
内宮駐輪場	10	美鈴	存続(長寿命化・更新なし)	○	◎	○	△	○-1	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
酒吞童子の里 水車小屋	12	美鈴	-	○	◎	○	△	○-1	◎	△	○	◎	用途廃止(検討)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	⇒	■	・	・	・	・
野鳥の森管理棟	26	美鈴	-	△	△	○	△	○-1	◎	△	◎	◎	用途廃止(検討)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	⇒	■	・	・	・	・

(2) 宿泊(研修)施設

ア 施設の概要

施設の目的	団体宿泊訓練を通じて勤労青年の技術教育、職業教育あるいは野外活動その他各種の教育を行い、健全な青年の育成を図ります。				
施設概要	施設数	11	延床面積(㎡)	9,180	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	586 m ²	中期目標(R7～R16)	918 m ²	実績(第 1 期)	0 m ² ※前期 1,736 m ² ※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	1,683 千円	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	3 件
公共施設の現状分析	ア 地域の観光資源や活性化の観点から、単純に利用率による継続性の判断は困難なものの、周辺公共施設や類似民間施設との競合性や採算性を確認しながら、公共施設としての必要性を明確にした上で、施設の維持・更新の優先度を判断し、再配置(民間譲渡・廃止を含む。)を推進する必要がある。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・大呂自然休養村センター(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件) ・三和荘(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件、蓄電池導入 1 件) ・大雲塾舎・鬼力亭(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件)					
再配置の方針	ア 将来において、利用率の改善が見込めず、採算性の著しく低い施設にあつては廃止を原則とする。 イ 公共施設としての必要性を明確にする中で、用途廃止した施設で、民間事業者による活用が見込める施設については、譲渡などの検討を行う。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価									③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域	(洪水浸水想定区域 想定最大規模)			～R6	R7	R8	R9	R10	R11
大呂自然休養村センター	972	上川口	存続(長寿命化・更新なし)	○	◎	△	◎	◎	◎	○	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	福知山北部地域における集客拠点施設であり、存続とする。	・	・	・	・	・	・
旧三岳青少年山の家	1,073	三岳	削減	○	○	△	○-1	△	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	民間型提案制度で民間事業者と土地賃貸借契約と不動産使用貸付契約を締結(令和6年4月1日～令和16年3月31日)	■	■	—	—	—	—
こぶし荘	586	金山	削減	○	◎	○	△	○-1	◎	△	○	◎	用途廃止(除却)	令和2年度に解体し、ロッジ、キャンプ場のみ残っており、解体予定。	・	・	・	・	・	■
三和荘	2,696	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
夜久野町緑の里交流センター	257	上夜久野	-	○	◎	○	△	◎	◎	△	△	◎	用途廃止(検討)	令和3年度をもって用途廃止済み。施設の利活用を図り、なければ除却を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
ファームガーデンやくの 夜久野荘	825	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	△	△	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度にプラン案を策定	・	・	・	・	・	・
大江山グリーンロッジ	803	美鈴	削減	◎	◎	△	○-1	◎	◎	△	○	◎	用途廃止(貸付)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	■	■	—	—	—	—
大江山鬼瓦工房・童子荘	647	美鈴	削減	△	○	△	○-1	○-2	◎	△	○	◎	用途廃止(貸付)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	■	■	—	—	—	—
キャンプ場	36	美鈴	削減	△	○	△	○-1	○-2	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	■	■	—	—	—	—
酒呑童子の里バンガロー	434	美鈴	削減	△	○	○	△	○-1	◎	△	△	◎	用途廃止(貸付)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	・	■	—	—	—	—
大雲塾舎・鬼力亭	850	有仁	-	△	○	○	○-1	○-1	◎	△	○	◎	用途廃止(検討)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	⇒	■	・	・	・	・

10 生涯学習系施設

(1) 博物館

ア 施設の概要

施設の目的	福知山市の深い歴史、優れた文化、そして資源を活用して、市民に啓発するとともに福知山市の魅力を市内外にPRします。				
施設概要	施設数	16	延床面積	10,469 m ²	

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	2,617 m ²	実績(第1期)	0 m ² ※前期 1,630 m ² ※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	2,628 千円	省エネ設備導入施設数目標	1 件	省エネ設備導入施設数実績	6 件
公共施設の現状分析	<p>ア 歴史・文化は地域の特性やアイデンティティーを構成する重要な項目であり、これを体系的且つ視覚的に解説する博物館・資料館及び類似施設の設置は社会教育を推進する上で極めて重要な施策である。一方、これら施設はその収蔵品をもとに展示・発表の手法によって地域の魅力を内外に強く情報発信する力を持ち、地域資源、観光資源として活用して潜在能力を十分に引き出すことが求められる。</p> <p>イ 博物館、資料館に収蔵される文化財、文化資料、芸術作品はその学術性とともない代替性の無いものであり、調査研究を進めて後世に継承することも施設の重要な業務である。また恒久的で安全な保管と適切な管理運営に努めるため、分散していた資料の集約を行った。</p> <p>ウ 近年、インターネットなど高度情報化により、利用者の要求が高度化・細分化・専門化し、展示の高機能化、高度情報化、高品質化が求められている。そのためには、知識のある学芸員を施設に配置し、利用者の要求に対して、迅速に解説やリファレンスを行えるスキルが求められるものである。</p> <p>エ 新たな目標に関するこれまでの取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・佐藤太清記念美術館(令和5年度:照明LED化1件)・福知山城天守閣(令和4年度:照明LED化1件、令和5年度:LED化1件)・福知山鉄道館別館(令和3年度:照明LED化1件)・和紙伝承館(令和5年度:照明LED化1件)・日本の鬼の交流博物館(令和5年度:照明LED化1件)・鬼文化研究所(令和5年度:LED化1件)					
再配置の方針	<p>ア 管理運営方法の改善を行い存置することを原則とするが、利用状況や施設機能を勘案した上で、施設機能の集約化・多機能化を進める。その際、収蔵物については他施設を利用した機動的な展示を行う。</p> <p>イ 施設機能を検証し、展示目的や事業内容、来場者の状況、地域特性を十分考慮した中で、展示物等の魅力を創出する観点から、他用途施設との統合についても検討する。</p> <p>ウ 収蔵庫のある施設は、指定文化財等を優先的に保管すること。収蔵資料については、トリアージの手法を取り入れ、保管資料の選択を行い、収蔵スペースの適正化を図る。</p> <p>エ 開館期間の見直しや一体管理等により効率的な施設運営を進める。</p>					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
丹波生活衣館	624	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	○-1	○-2	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
佐藤太清記念美術館	835	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-2	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
福知山城天守閣	1,063	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
福知山鉄道館別館	147	昭和	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	福知山鉄道館フクレルと一体的に機能する施設であり、施設維持管理に重大な支障が生じていないため。	・	・	・	・	・	・
治水記念館	231	昭和	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	○-2	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
都市緑化植物園(温室)	1,217	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	○-2	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	本市の都市緑化の拠点施設となっており、児童科学館、動物園とともに三段池公園の魅力向上に寄与しているため存続とする。	・	・	・	・	・	・
児童科学館	2,308	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用者が多く、室内の遊び場としての機能を持ち合わせており、植物園、動物園とともに三段池公園の魅力向上に寄与しているため存続とする。	・	・	・	・	・	・
動物園	1,097	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	○-2	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用者が多く、本市において主要な観光施設の一つであり、植物園、科学館とともに三段池公園の魅力向上に寄与しているため存続とする。	・	・	・	・	・	・
芦田均記念館	434	中六人部	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	△	○-2	○-2	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
ファームガーデンやくの 林産物展示販売用施設(やくの木と漆の館)	248	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度にプラン案を策定	・	・	・	・	・	・
ファームガーデンやくの 子ども等体験農園	60	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-1	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年度にプラン案を策定	・	・	・	・	・	・
夜久野町化石・郷土資料館	315	上夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	○	○-2	○-2	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
和紙伝承館	200	美鈴	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	○-2	○-1	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化)	技術の伝承及び和紙に係る情報発信の施設として必要であるため存続する。	・	・	・	・	・	■
日本の鬼の交流博物館	639	美鈴	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	○	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	■	・	・	・	・
鬼文化研究所	373	美鈴	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	○	◎	存続(長寿命化)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	■	・	・	・
大雲記念館	678	有仁	削減	◎	○	△	○-1	○-1	◎	△	○	◎	用途廃止(貸付)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	・	■	—	—	—	—

(2) 体育施設(体育館)

ア 施設の概要

施設の目的	市立体育館は、市民体育の向上、健康の増進を図るため、また体育振興のための各種事業を行います。				
施設概要	施設数	16	延床面積	26,356 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	595 m ²	中期目標(R7～R16)	1,318 m ²	実績(第 1 期)	832 m ² ※前期 529 m ² ※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	5 件
公共施設の現状分析	ア 築後 30 年以上経過している施設が多い。市民体育館の稼働率は高いが、旧町体育館は周辺人口が少なく稼働率が低くなっている。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・市民体育館(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件) ・三段池公園総合体育館(平成 29 年度:照明 LED 化 1 件) ・福知山市武道館(平成 21 年度:断熱工事 1 件) ・日新地域体育館(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件) ・三和町林業者等健康増進施設(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件)					
再配置の方針	ア 築後 30 年以上経過している施設が大半のため、民間施設として譲渡できる施設については譲渡し、利用需要増の見込めない施設につい ては、延命改修をせず維持管理できなくなる時期を見て廃止する。また、利用需要の高い市民体育館については延命化を図り存続させる。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
市民体育館	2,480	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	○	◎	△	○	◎	◎	△	存続(長寿命化)	存続する。	・	・	・	・	・	■
桃映地域体育館	1,033	大正	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化)	社会教育事業の拠点施設であり、利用率が高い施設であるため存続する。	・	・	・	■	・	・
三段池公園総合体育館	8,478	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	改修により長寿命化を図り存続する。	・	・	・	・	・	■
福知山市武道館	3,797	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	改修により長寿命化を図り存続する。	・	・	・	・	・	■
成和地域体育館	1,041	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	社会教育事業の拠点施設として、必要不可欠であるため存続する。	・	・	■	・	・	・
日新地域体育館	828	遷喬	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	○	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和5年長寿命化改修完了。社会教育事業等の拠点として、継続して維持管理を行う。	・	・	・	・	・	・
長田野公園長田野体育館	2,062	下六人部	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	将来的には再配置など検討する。	・	・	・	・	・	・
六人部地域体育館	940	下六人部	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	令和6年長寿命化改修完了。社会教育事業等の拠点として、継続して維持管理を行う。	・	・	・	・	・	・
川口地域体育館	631	上川口	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	△	○	○	○	◎	存続(長寿命化)	社会教育事業の拠点施設として、必要不可欠であるため存続する。	・	■	・	・	・	・
北陵地域体育館	630	公誠	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	○-1	○-1	○	△	△	◎	存続(長寿命化)	社会教育事業の拠点施設として、必要不可欠であるため存続する。	・	・	・	■	・	・
三和町林業者等健康増進施設	999	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
夜久野地域公民館体育施設旧精華小学校	595	上夜久野	削減	○	○	◎	△	△	△	△	◎	◎	用途廃止(除却)	利用状況を鑑み、用途廃止を行う。	・	・	・	・	・	■
夜久野町農業者トレーニングセンター	1,290	中夜久野	存続(長寿命化・更新あり)	○	△	○	△	△	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用圏域人口の減少とともに利用者の減少が見込まれるが、夜久野学園が隣接しており、教育委員会所管として夜久野学園と一体で管理を行う。	・	・	・	・	・	・
夜久野地域公民館体育施設旧明正小学校	424	下夜久野	-	○	○	◎	△	△	△	○	◎	◎	用途廃止(検討)	利用状況を鑑み、用途廃止を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
大江町河西体育館	574	美河	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	△	△	○	○	◎	△	存続(長寿命化・更新なし)	同一中学校区内に複数配置されている。周辺人口が少なく稼働率としては低い。建築後年数が経っている。存続するが改築や大規模改修はしない。	・	・	・	・	・	・
大江町有路下体育館	553	有仁	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	△	○-2	○	△	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	同一中学校区内に複数配置されている。夜間や休日などにおける学校施設の有効利用の可能性も含めて、生涯スポーツの振興を中心的視点として、施設の必要性や管理運営の方針などを地域要望と優先順位により決定し、地域ごとに機能統合や整備の方針を検討する。	・	・	・	・	・	・

(3) 体育施設(運動場)

ア 施設の概要

施設の目的	各種スポーツ大会等の開催や市民の競技力向上と生涯スポーツの振興を図り、また、市民の目的に応じた安心で安全な、スポーツ環境を提供します。				
施設概要	施設数	14	延床面積	4,895 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減 目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	338 m ²	中期目標(R7～R16)	734 m ²	実績(第 1 期)	12 m ² ※前期 0 m ² ※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理 費削減効果額	—	省エネ設備導入 施設数目標	—	省エネ設備導入 施設数実績	3 件
公共施設の現状分析	ア 市民運動場の稼働率は高いが、旧町運動場は周辺人口が少なく稼働率が低くなっている。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 ・丘運動場(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件) ・三段池公園テニスコート(令和 3 年度:照明 LED 化 1 件) ・三和町運動広場(令和 5 年度:照明 LED 化 1 件)					
再配置の方針	ア 施設の利用者が特定地域に限定されている施設は、廃止又は譲渡に向け準備を進める。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
丘運動場	9	惇明	存続(長寿命化・更新なし)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	近隣に運動場がないため、現在の場所で存続させる。	・	・	・	・	・	・
市民運動場	1,992	昭和	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	△	△	◎	◎	◎	△	存続(長寿命化)	改修により長寿命化を図り、将来的には移転も含めて検討する。	・	・	・	・	・	■
三段池公園多目的グラウンド	190	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	改修により長寿命化を図り存続する。	・	・	・	・	・	■
三段池公園テニスコート	383	庵我	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化)	改修により長寿命化を図り存続する。	・	・	・	・	・	■
福知山北部地域多目的グラウンド	49	下豊富	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用需要が高い。	・	・	・	・	・	・
三和町鹿倉運動公園	338	菟原	削減	○	○	○	△	△	◎	△	◎	◎	用途廃止(除却)	施設の老朽化による。	・	・	・	・	・	■
三和町運動広場	64	細見	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
三和町川合運動広場	144	川合	存続(長寿命化・更新あり)	◎	◎	◎	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用状況を踏まえ存続する。	・	・	・	・	・	・
夜久野町ふれあいの里多目的広場	989	上夜久野	-	◎	◎	○	△	○-1	◎	△	○	◎	用途廃止(検討)	貸出中の団体や地域の利用団体との協議を踏まえ、今後の方向性について検討する。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■
夜久野町運動広場	103	中夜久野	存続(長寿命化・更新あり)	○	○	○	○-2	○-1	○	△	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	利用圏域人口の減少とともに利用者の減少が見込まれるが、夜久野学園が隣接しており、教育委員会所管として夜久野学園と一体で管理を行う。	・	・	・	・	・	・
夜久野町額田グートボール場	478	下夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	△	○-1	◎	○	○	○	存続(長寿命化・更新なし)	現在利用はほぼない状況であり、存続するが改築や大規模改修はしない。	・	・	・	・	・	・
大江町河東グラウンド	70	美河	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	△	○-1	◎	○	△	◎	存続(長寿命化・更新なし)	隣接施設に教育委員会所管の公民館があるため、教育委員会所管とし、一体で管理を行う。	・	・	・	・	・	・
酒吞童子の里テニスコート	18	美鈴	-	◎	◎	◎	○-1	◎	◎	△	○	◎	用途廃止(検討)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	⇒	⇒	⇒	■	・	・
大江山酒吞童子の里野球場	68	美鈴	削減	◎	◎	△	○-1	◎	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	現在、一般社団法人福知山地域振興社と調整中	■	■	—	—	—	—

(4) 体育施設(プール)

ア 施設の概要

施設の目的	水泳技能の向上と体力づくりを図り、市民の心身の健全な発達に資することを目的とする。					
施設概要	施設数	2	延床面積	1,633 ㎡		

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	1,525 ㎡	中期目標(R7～R16)	1,551 ㎡	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	—	省エネ設備導入施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 温水プール(昭和 56 年築)は、建築後年数がたっている。 イ 温水プール利用の需要は高く、施設規模の拡大を求める利用者もある。公民連携による民間の新温水プールが令和 5 年度上半期にオープンした。 ウ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア 温水プールは、老朽化が著しいため除却する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
温水プール	1,525	昭和	削減	○	◎	○	◎	△	◎	◎	◎	△	用途廃止(除却)	令和7年度除却予定	・	■				
夜久野町町民プール	108	下夜久野	-	◎	◎	◎	△	○-2	◎	○	◎	◎	用途廃止(検討)	令和5年度廃止。施設の利活用について検討を行う。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	■

(5) その他の生涯学習施設

ア 施設の概要

施設の目的	市民の文化の向上及びコミュニティ活動の推進を図ります。					
施設概要	施設数	2	延床面積(㎡)	184 ㎡		

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	—	中期目標(R7～R16)	184 ㎡	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	—	省エネ設備導入施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 夜久野町教育文化会館は、これまで京都府から土地建物を借り受けていたが、令和 5 年度に取得した。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア 近隣公共施設との機能集約により、積極的な整理、統廃合を進める。また遊休資産については積極的に利活用を行う。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～R6	R7	R8	R9	R10	R11
夜久野町太鼓練習場	29	下夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	△	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)	施設廃止の合意済だが、具体的な話は出ていない。 太鼓の練習場として活用している。	・	・	・	・	・	・
夜久野町文化コミュニティセンター	155	下夜久野	存続(長寿命化・更新なし)	○	○	○	△	○-1	◎	○	◎	◎	存続(長寿命化・更新なし)		・	・	・	・	・	・

11 その他

(1) 職員公舎

ア 施設の概要

施設の目的	職員福利厚生事業の一環として職員同士の交流や自主活動のスペースとして利用してきた。				
施設概要	施設数	1	延床面積	84 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	84 ㎡	中期目標(R7～R16)	84 ㎡	実績(第 1 期)	276 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	—	省エネ設備導入施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 老朽が激しく近年の使用実績についても減少している。 イ 新たな目標に関するこれまでの取組状況 省エネ設備の導入なし					
再配置の方針	ア 今後の活用計画がないため、除却する。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価								③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール						
				配置の 偏り	同種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂災害警戒区域			洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
教員住宅(上川合)	84	川合	削減	◎	◎	◎	△	△	◎	◎	△	◎	用途廃止(除却)	老朽化が激しく近年使用実績なし。今後活用がないため、除却する。	■

(2) その他の施設

ア 施設の概要

施設の目的	廃校などの用途廃止済みの施設について、民間企業などへの貸付により施設の利活用を行っている。				
施設概要	施設数	16	延床面積	14,868 ㎡	

イ 再配置方針

計画期間内削減目標(延床面積ベース)	目標(R7～R11)	765 ㎡	中期目標(R7～R16)	貸付施設のため目標設定なし	実績(第 1 期)	0 ㎡※前期 0 ㎡※後期
計画期間内目標	貸付による維持管理費削減効果額	—	省エネ設備導入施設数目標	—	省エネ設備導入施設数実績	0 件
公共施設の現状分析	ア 廃校など、用途廃止済みの施設について、現在、民間企業などへの貸付を行っており、当初の使用目的と異なる用途で利活用されているため、その他の施設として分類する。 イ 貸付により、貸付収入や維持管理費の削減などの効果に加え、地域の賑わいの創出などにもつながっている。 ウ 新たな目標に関する現状について取組内容 ・廃校 5 校の貸付 ・災害ボランティアセンター資材倉庫の貸付 など					
再配置の方針	ア 引き続き、民間企業などへの貸付を継続し、貸付収入や維持管理費の削減などの効果に加え、地域の賑わい創出につなげる。					
関連計画等						

ウ 各施設の評価及び再配置実施計画

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における 再配置の区分	②評価									③第2期前期実 施計画での再配 置の区分	④再配置区分の設定根拠	⑤再配置のスケジュール					
				配置 の偏り	同種 施設	民間 活用	利用 状況	老朽 化	耐震 性	将来 需要	土砂災害警戒区域	洪水浸水想定区域 (想定最大規模)			～ R6	R7	R8	R9	R10	R11
旧部落問題生活相談所	87	惇明	削減	◎	○	○	◎	○-2	◎	◎	◎	○	用途廃止(貸付)	周辺に機能統合可能な施設がないので、存続させる。	■	■	—	—	—	—
旧普通財産貸付地(緑ヶ丘元 軍属宿舎)	119	昭和	削減	◎	○	△	△	△	○	◎	◎	◎	用途廃止(除却)	現在居住用建物として貸付中。老朽化しており、転居等を促している。相手方の条件に合う物件がなく当面は貸付ける。	・	・	・	・	・	■
旧天津小学校(活用事業)	2,090	下川口	削減	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	△	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
旧天津小学校(活用事業)(体 育館)	800	下川口	削減	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	△	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
福祉目的貸付用施設(天津)	567	下川口	削減	△	○	△	◎	△	◎	△	◎	○	用途廃止(除却)	用途廃止(除却)予定	・	・	■			
旧中六人部小学校(活用事業)	1,982	中六人部	削減	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
旧中六人部小学校(活用事業) (体育館)	804	中六人部	削減	◎	◎	○	○-2	◎	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
野花有線放送所	79	上川口	削減	◎	○	△	△	◎	◎	○	◎	◎	用途廃止(除却)	現在、未利用物件であるが、民間活用のニーズは現時点でないことから建物を除却し、土地の民間ニーズを図る。	・	・	■			
旧公誠小学校(活用事業)	1,541	公誠	削減	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
旧公誠小学校(活用事業)(体 育館)	447	公誠	削減	△	△	△	△	△	△	△	△	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
旧菟原小学校(活用事業)	2,290	菟原	削減	◎	◎	△	◎	○-2	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
旧菟原小学校(活用事業)(体 育館)	864	菟原	削減	◎	◎	△	◎	○-2	◎	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
災害ボランティアセンター資材 倉庫	150	細見	存続(長寿命化・ 更新あり)	◎	◎	△	△	◎	◎	△	○	◎	存続(長寿命化・ 更新なし)	災害時等、一定の利用頻度はあるため存続し、長期的には長寿命化を実施する。	・	・	・	・	・	・
旧川合小学校(活用事業)	1,892	川合	削減	◎	◎	△	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
旧川合小学校(活用事業)(体 育館)	703	川合	削減	◎	◎	△	◎	○-2	◎	◎	◎	◎	用途廃止(貸付)	廃校活用により貸付を行っている。	■	■	—	—	—	—
旧河守上保育園	452	美鈴	削減	△	◎	△	◎	△	△	△	◎	◎	用途廃止(貸付)	現在貸付中である。	■	■	—	—	—	—

第1期基本計画策定後の新設・所管施設一覧

本市における第 1 期基本計画については平成 27 年 3 月に策定しています。実施計画において対象とする施設は、当該年度までに整備された施設を対象としていることから、以降に整備された施設や移管等により本市で所管することとなった施設については、今後の再配置における取り扱いについて、前述までの取組と仕分けたマネジメント対応をするため、下表に該当施設の一覧を掲載しています。

施設名	延床面積 (㎡)	エリア	①長期における再配置の区分	②評価								③第2期前期実施計画での再配置の区分	④再配置区分の設定根拠	
				配置の偏り	同種施設	民間活用	利用状況	老朽化	耐震性	将来需要	土砂災害警戒区域 (想定最大規模)			
除雪車車庫(蓼原)	157	美河	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	△	—	—
大正分団統合車庫・詰所	140	大正	—	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	—	—
庵我分団統合車庫・詰所	140	庵我	—	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	—	—
修斉分団第3部(拝師)	126	下豊富	—	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	—	—
修斉分団第1部・第2部統合車庫・詰所	132	下豊富	—	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	—	—
福知山市水防センター	232	遷喬	—	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	◎	△	—	—
下川分団統合車庫・詰所	132	下川口	—	-	-	-	-	◎	◎	△	◎	○	—	—
上六分団統合車庫・詰所	136	上六人部	—	-	-	-	-	◎	◎	△	◎	◎	—	—
中六分団統合車庫・詰所	129	中六人部	—	-	-	-	-	◎	◎	△	◎	◎	—	—
菟原分団統合車庫・詰所	161	菟原	—	-	-	-	-	◎	◎	△	◎	◎	—	—
細見川合分団第5部(上川合)	124	川合	—	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	—	—
上夜久野分団第4部車庫・詰所	60	上夜久野	—	-	-	-	-	◎	◎	△	◎	◎	—	—
中夜久野分団統合車庫・詰所	124	中夜久野	—	-	-	-	-	◎	◎	△	○	◎	—	—
下夜久野分団統合詰所	97	下夜久野	—	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	◎	—	—
河東分団統合車庫・詰所	149	美河	—	-	-	-	-	◎	◎	○	◎	○	—	—
有路上分団統合車庫・詰所	114	有仁	—	-	-	-	-	◎	◎	△	◎	○	—	—
有路下分団統合車庫・詰所	136	有仁	—	-	-	-	-	◎	◎	△	○	◎	—	—
地域子育て支援拠点施設	80	惇明	—	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	—	—
子供発達支援相談ステーションくりのみ園	747	昭和	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	—	—
中丹地域有害鳥獣処理施設(牧)	19	下川口	—	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	△	◎	◎	—	—
中丹地域有害鳥獣処理施設(報恩寺)	6	佐賀	—	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	△	◎	◎	—	—
中丹地域有害鳥獣処理施設(三和町芦刈)	6	細見	—	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	△	◎	◎	—	—
中丹地域有害鳥獣処理施設(夜久野町平野)	13	上夜久野	—	◎	◎	◎	◎	○-1	◎	△	◎	◎	—	—
中丹地域有害鳥獣処理施設	476	有仁	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	—	—
福知山鉄道館	563	惇明	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	—	—
夜久野町教育文化会館	2,007	下夜久野	—	○	○	○	△	△	△	○	◎	◎	—	—

<参考 1> 具体的な取組

（第1期後期実施計画における具体的な取組について、事例等を踏まえながら整理します。）

(1) エリアマネジメントの概要とこれまでの取組

① エリアマネジメントの概要

同一機能を有する施設の集約化や異なる施設機能を統合する複合化を検討するにあたっては、将来を見据えた地域のあり方や地域として必要な施設機能を整理し、バランスよく機能を再配置することが必要です。

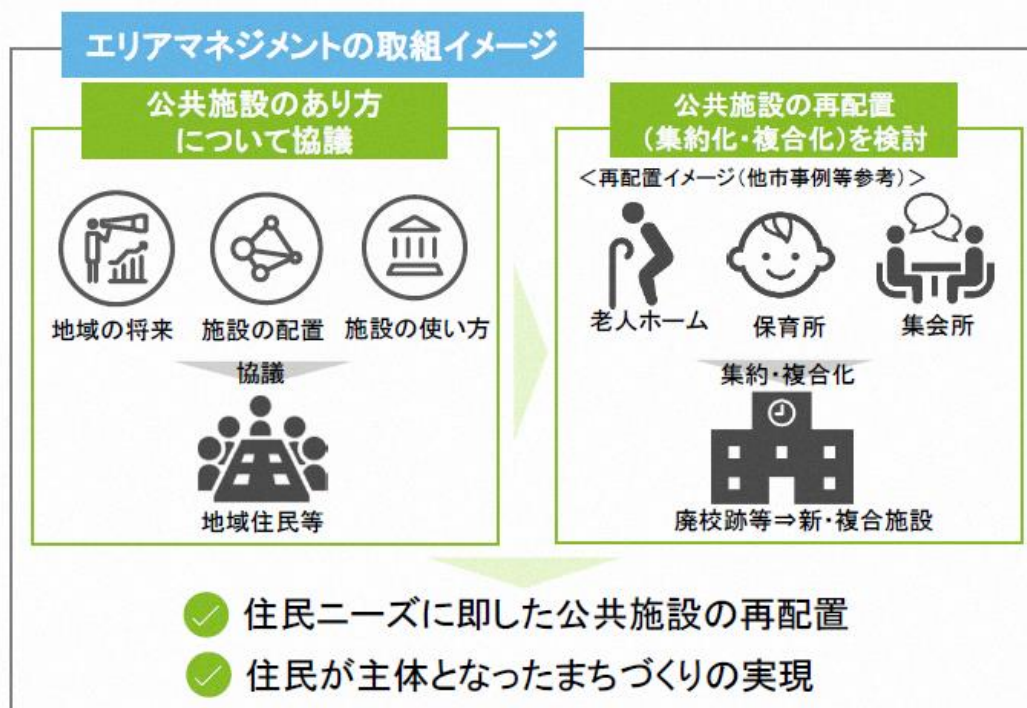
エリアマネジメントとは、このような場合において、行政だけでなく、地域住民や施設利用者・関係事業者等が協働して、公共施設の再配置を単なる縮減とせず、必要に応じて時代のニーズに即した新たな機能の導入や、集約化・複合化を通じて新たな価値を生み出すことにより、施設を取り巻くステークホルダーにとって満足度を高められるよう、「まちづくり」としての幅広い視点から協議・調整を行うことです。

② エリアマネジメントの取組イメージ

エリアマネジメントの取組では、行政が主体となって公共施設のあり方を決めるのではなく、地域の現状を再確認し、将来を見据えた施設の配置、施設の利用方法について、住民や関係者で話し合ったうえで今後の施設のあり方を検討します。

こうした議論を踏まえることで、持続可能でより住民ニーズに即した公共施設の再配置が可能となり、住民が主体となったまちづくりを実現することができます。

エリアマネジメントの検討の結果、施設に人が集い、交わることにより、地域コミュニティの活性化、賑わいの創出など新たな価値を創造することが期待されます。



③ ワークショップの開催

本市では、地域事情を踏まえた施設のあり方を検討するため、「まちづくり」の視点から、地域内で同一機能を有する施設の集約化や異なる施設機能を統合させる複合化を検討する「エリアマネジメント」の取組を進めてきました。

令和5年度には、市民向けに公共施設マネジメントに関する本市の概要説明や公共施設の再配置を体験するワークショップ「地域拠点整備ワークショップ」を開催しました。雀部地域で1回、夜久野地域で2回の計3回開催し、自分達が住む地域にある公共施設の現状・課題・可能性についてグループワークにて話し合い、公共施設マネジメントへの理解を深めていただきました。

地域拠点整備ワークショップ当日の様子



＜エリアマネジメントの取組事例＞

エリアマネジメントは、地元住民から要望等があった地区について、順次協議を実施しています。中でも、具体的な検討が進み、事業化を行っている地区をモデル地区として整理し、本計画でご紹介します。

① 大正地区

大正地区では地域の理解と協力により、老朽化した公共施設の廃止など先進的に公共施設マネジメントの取組が進んでおり、モデル地域としてエリアマネジメントの取組を行いました。

大正文化センターの施設利用者や福知山公立大学の協力を得て、ワークショップ形式で地域に必要な公共施設や公共サービスの検討を行いました。

ワークショップを重ねる中で、参加者は、次第に市民自身が公共施設サービスを受ける立場から、公共施設サービスを考える立場となり、市民の暮らしをより良くする「まちづくり」の視点から協議を進めることができました。

大正地区では、右図のとおり公共施設マネジメントに取り組みました。

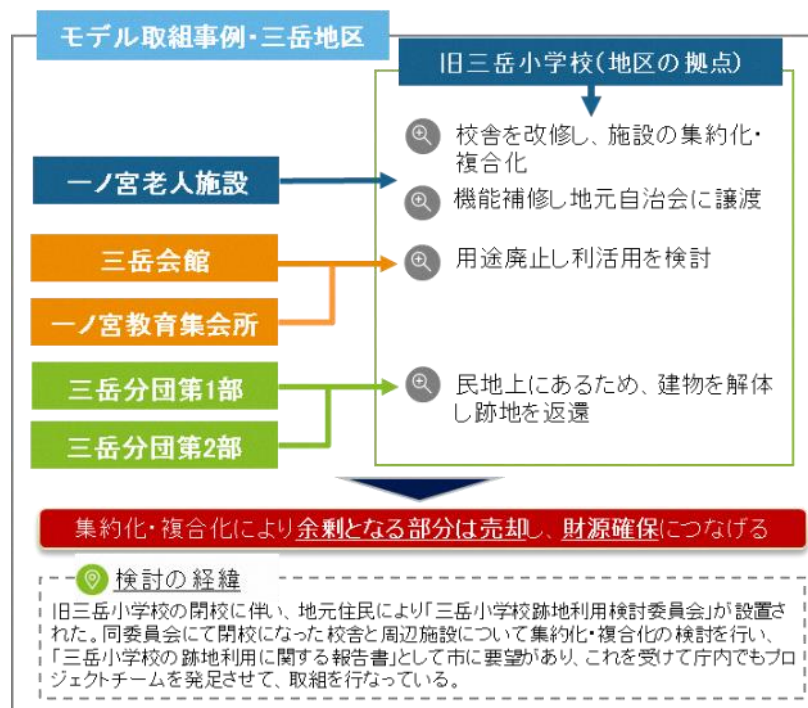


② 三岳地区

三岳地区では、廃校となった旧三岳小学校にその周辺に所在する公共施設を集約する取組を行いました。

「まちづくり」の視点から地域住民主体で検討した公共施設のあり方を、市に提案していただき、事業化へと進めることができました。

また、旧三岳小学校に集約しない公共施設についても、三岳地区の各自治会で10年後、20年後の地域を見据えた検討を進めています。



③ 上夜久野地区

上夜久野地区においては、福祉・人権関連施設(中田集会所、上夜久野児童館、人権ふれあいセンターさわやか館)を、今後の地域人口減少と高齢化が進むことを踏まえ、子どもから高齢者まですべての人が利用できる交流の場としての施設の統合・集約化を行いました。

令和 4 年度において、人権ふれあいセンターさわやか館が、旧上夜久野児童館を移転先として機能改修を行い、移転、リニューアルオープンしました。子どもから高齢者まですべての地域住民の皆さんが利用し、交流できる場として、玄関のバリアフリー化や多目的トイレ、調理室を新たに設置し、隣接する中田集会所跡地には駐車場と作業場を整備しています。



【これまでの協議等の経過】

- 平成 29 年 10 月
 - ・ 中田自治会に、中田自治会公民館検討委員会(委員 13 名)を設置 中田地区内にある中田集会所や上夜久野児童館、人権ふれあいセンターさわやか館の今後のあり方の協議を開始
- 令和元年 9 月～令和 3 年 3 月
 - ・ 中田自治会公民館検討委員会で旧上夜久野児童館を機能改修し、人権ふれあいセンターさわやか館を移転することを協議、決定
- 令和 2 年 4 月
 - ・ 旧上夜久野児童館 閉鎖(上夜久野児童館運営委員会:了承)
- 令和 3 年 9 月 9 日～令和 4 年 3 月 22 日
 - ・ さわやか館移転先改修ほか工事 施工
- 令和 4 年 3 月 22 日
 - ・ 工事 完了
- 令和 4 年 4 月 1 日
 - ・ さわやか館移転、リニューアルオープン

(2) 大規模遊休資産の利活用等の取組

本市では、少子化などの影響で平成 24 年度～令和 2 年度までの 9 年間で 16 校の小学校が閉校したことを受け、廃校活用の取組を進めてきました。令和 5 年度末までに行政利用 2 校、民間活用 7 校の合計 9 校の活用を開始しています。中でも特に、廃校活用は、近年、メディア等に取り上げられる機会も多く、話題性が高いため、施設来場者の増加や地元雇用など、地域の賑わいも創出しています。

<貸付事例>

<p>① THE 610 BASE(旧中六人部小学校)</p> <p>旧中六人部小学校は、令和 2 年 1 月より民間事業者に貸付を行っています。いちご摘み体験ができる体験型農業施設にリノベーションし、現在は、校舎内にスケートボードのランプ「RAMP610」やカフェ施設もオープンしています。市内外から多くの人々が訪れ、様々なイベント等も開催されており、地域活性化の拠点となっています。</p>	
<p>② リバース 647 かわい承学校(旧川合小学校)</p> <p>旧川合小学校は、令和 3 年 10 月より民間事業者に貸付を行っています。再び子どもの声が響く地域住民交流の場を活用コンセプトにキャンプ場やサブリース施設として活用されています。</p>	
<p>③ SOMABITO NORTH HILLS キャンプ場 (旧公誠小学校及び旧北陵中学校)</p> <p>旧公誠小学校及び旧北陵中学校は、令和 4 年 4 月より民間事業者に貸付を行っています。廃校のグラウンドをキャンプ場として活用し、公民館活動と連携したイベントの開催を行うなど、キャンプの楽しみ方の発信にもつながっています。</p>	
<p>④ S-LAB(旧天津小学校)</p> <p>旧天津小学校は、令和 4 年 4 月より民間事業者に貸付を行っています。グラウンドを活用した人工芝のサッカーコートを中心とする複合型スポーツ施設として幅広い世代の方に利用されています。</p>	
<p>⑤ 京織グループ 福知山商品管理物流センター(旧菟原小学校)</p> <p>旧菟原小学校は、令和 4 年 10 月より民間事業者に貸付を行っています。廃校の校舎・体育館をレンタル着物の保管及び配送を行う物流センターとして活用し、地元雇用に加え障害者雇用の促進も図っており、地域交流・活性化の拠点となっています。</p>	

<売却事例>

⑥ ぐるーぷほーむ森の家(旧精華小学校)

旧精華小学校のグラウンドは、令和 2 年 4 月に民間事業者へ売却しました。認知症対応型グループホームという地域の高齢者福祉の拠点施設として活用されています。診療所と密に連携し、入居者の健康維持を図っています。



⑦ 里山ファクトリー(旧佐賀小学校)

旧佐賀小学校は、令和 3 年 3 月に民間事業者へ売却しました。菓子の製造工程が見える仕組みや、カフェ・ショップが併設されています。

集客以外にも、雇用の創出や、地元にある高校の吹奏楽部の演奏の場など、地域と連携したイベントの開催なども行われています。



<行政利用事例>

⑧ 三岳教育集会所(旧三岳小学校)

旧三岳小学校は、建物を改修し、三岳地区の教育集会所、集会施設、消防団詰所・消防車庫を集約化・複合化した三岳教育会所として令和 4 年 4 月より活用が行われています。地域事情を踏まえた施設のあり方を検討するエリアマネジメントの取組として進められ、新たな地域の拠点となっています。



⑨ 文化財収蔵庫(旧育英小学校)

旧育英小学校は、用途を変更し、文化財収蔵庫として令和 4 年 4 月より行政利用しています。用途を変更して利用することで、新たな施設整備の経費発生を抑制するなどの効果があります。



※サウンディング型市場調査

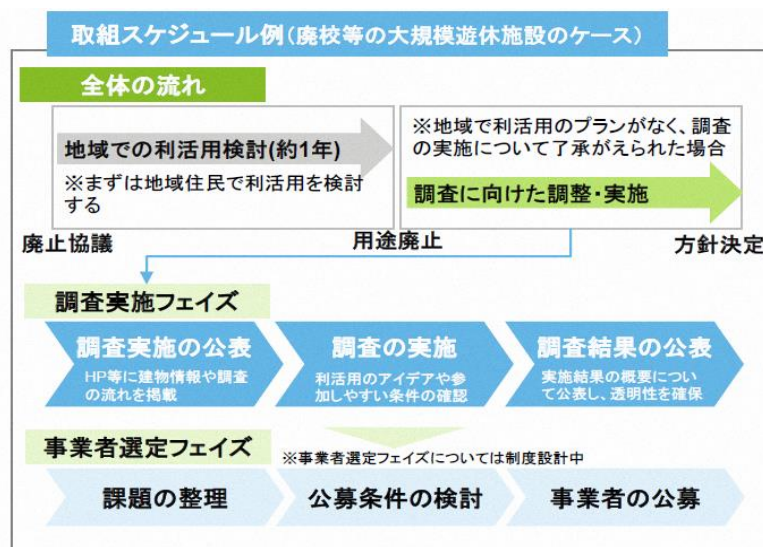
① サウンディング型市場調査の取組

本市では、一定の条件を満たした施設について、サウンディング型市場調査による遊休資産の活用方法の検討を行っています。

＜サウンディング型市場調査とは？＞

市有財産(土地・建物等)などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査

② サウンディング型市場調査の取組スケジュール例



※民間提案制度による事業者の募集

民間提案制度とは、行政だけで解決できない課題について民間事業者のノウハウや独創性、経営資源等を活用し、行政と民間の共創により解決する手段です。市の未利用財産の施設整備等において、事業者からの提案の中で市の施策や公共施設マネジメントに大きく貢献し、財政コストの軽減につながる提案があればそれを選定し、事業者と市との間での対話と協議を経て提案内容を具体化する制度です。

この制度の大きな特徴としては、事業者からの提案内容を知的財産として取り扱い、その情報及び内容を保護したうえで、提案が実現できると認められた場合、提案した事業者と随意契約を締結することです。

(3) 長寿命化(計画策定・改修状況)の取組

本市では、第1期後期実施計画で定めた再配置区分に基づき、令和3年3月に「個別施設計画(R3～R12)」を策定し、個々の公共施設の長寿命化等に向けた取組について評価・検証を進めています。

施設を長期的に維持していくことを定めた再配置区分をもとに存続対象施設(長寿命化)については、施設を長く使用するために、建物や設備の耐久性が高まる長寿命化等に関する以下の大規模改修の設計・工事に着手している状況を整理しています。

<長寿命化等に関する大規模改修等>

- ・外壁(外断熱工事、塗装工事など)
- ・屋上防水(シート防水、屋上断熱など)
- ・給排水管更新(高架水槽の更新を含む)
- ・用途変更に伴う間取り、構造変更等の大規模改修
- ・LED 化工事 等

① 長寿命化取組事例:学校体育館 LED 化工事

脱炭素社会実現に向け、学校長寿命化計画に基づいた LED 化工事を実施することで環境への配慮や節電効果を図っています。

■導入事例



遷喬小学校体育館



夜久野中学校体育館

② 長寿命化取組事例:ハピネスふくちやまキュービクル更新工事

古くなった設備を更新することで、大きな損害事故を未然に防ぎ、電気代の削減等の効果もみられます。



(4) 脱炭素への取組

脱炭素※¹ 社会実現のため、「ゼロカーボンシティ表明※²」、「再エネ 100 宣言 RE アクションへの参加※³」、「福知山市エネルギー・環境基本計画」及び「福知山市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に基づき、公共施設等の維持管理及び整備などに合わせて、2050 年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロに向けて公共施設等の脱炭素化に取り組むこととしています。

第 2 期前期実施計画からは、公共施設における新たな取組目標として、脱炭素化の取組に関わる指標として、省エネルギー設備の導入件数を設定し、評価することとしています。

※1 脱炭素(カーボンニュートラル)

脱炭素とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)の排出量を抑えるとともに、植樹や森林管理などで温室効果ガスの吸収作用の保全及び強化を進め、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、実質的な排出量をゼロにすること。

※2 ゼロカーボンシティ

環境省では、「2050 年に CO₂(二酸化炭素)を実質ゼロにする旨を首長自らがまたは地方自治体として公表された自治体」をゼロカーボンシティとしています。

※3 再エネ 100 宣言 RE アクション

企業、自治体、教育機関、医療機関などの団体が使用電力を 100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ 100%利用を促進する枠組みです。

(5) 本市の取組に関する評価

① 行革甲子園 2024 グランプリ受賞

■行革甲子園 2024(主催:愛媛県、後援:全国知事会ほか)の概要

平成 24 年度から隔年で県内版 2 回、全国版として 4 回開催されており、全国の市区町村の創意工夫あふれる取組事例を発表、表彰し、多くのノウハウを共有することで、自らの取組に活用していただくことを目的に開催されています。

今回の「行革甲子園 2024」には、35 都道府県 78 市区町村から 97 事例(このうち、審査対象事例は、91 事例)の応募があった中で、本市の「廃校 Re 活用プロジェクト」が最優秀賞であるグランプリを受賞しました。

② 日本ファシリティマネジメント大賞-JFMA 賞- 優秀ファシリティマネジメント賞受賞

■日本ファシリティマネジメント大賞-JFMA 賞-の概要

ファシリティマネジメントに関する優れた業績等を表彰することにより、日本国内における FM の普及・発展に資することを目的に 2007 年から毎年開催されています。

今回本市が FM 実践組織として応募した「未来の世代に責任をもつ循環型 FM+PPP」が優秀ファシリティマネジメント賞を受賞しました。(FM 実践組織:福知山市、サービス提供者:株式会社京都銀行、京都北都信用金庫)

○ポイント

持続できる公共施設マネジメントとするため、現在及び将来の市民にとって本当に必要なもの、価値のあるもののみを選びすぐって継承していくこと、すなわち公共施設の「選択と集中」を以下の 4 つの循環型 FM により実施しています。

○理想と現実の 2 つの計画

○進捗管理の公表による見える化

○公共施設等総合管理基金による資金循環

○公民連携による廃校 Re 活用

<参考 2> 第 1 期後期実施計画の実績

（第 1 期後期実施計画期間における削減実績について整理します。）

■ 中期目標に対する削減進捗状況（削減面積・削減効果額）

（表）中期目標に対する削減進捗状況表では、基本計画の中期目標に対する後期実施計画期間の累計削減実績と削減効果額の進捗状況を取りまとめています。

令和 5 年度は再配置が完了した 40 施設のうち、18 施設 4,670 ㎡が除却等の延床面積の削減につながりました。令和 5 年度までの累計削減実績は 169 施設 35,350 ㎡となり、基本計画で設定した中期目標の 101,800 ㎡に対し達成率は 34.7%となりました。

令和 5 年度の削減効果額は 13 億 6,400 万円となり、令和 5 年度までの累計では 114 億 8,800 万円と、中期目標の約 292 億円に対し、累計達成率は 39.4%となりました。

（表）中期目標に対する削減進捗状況表

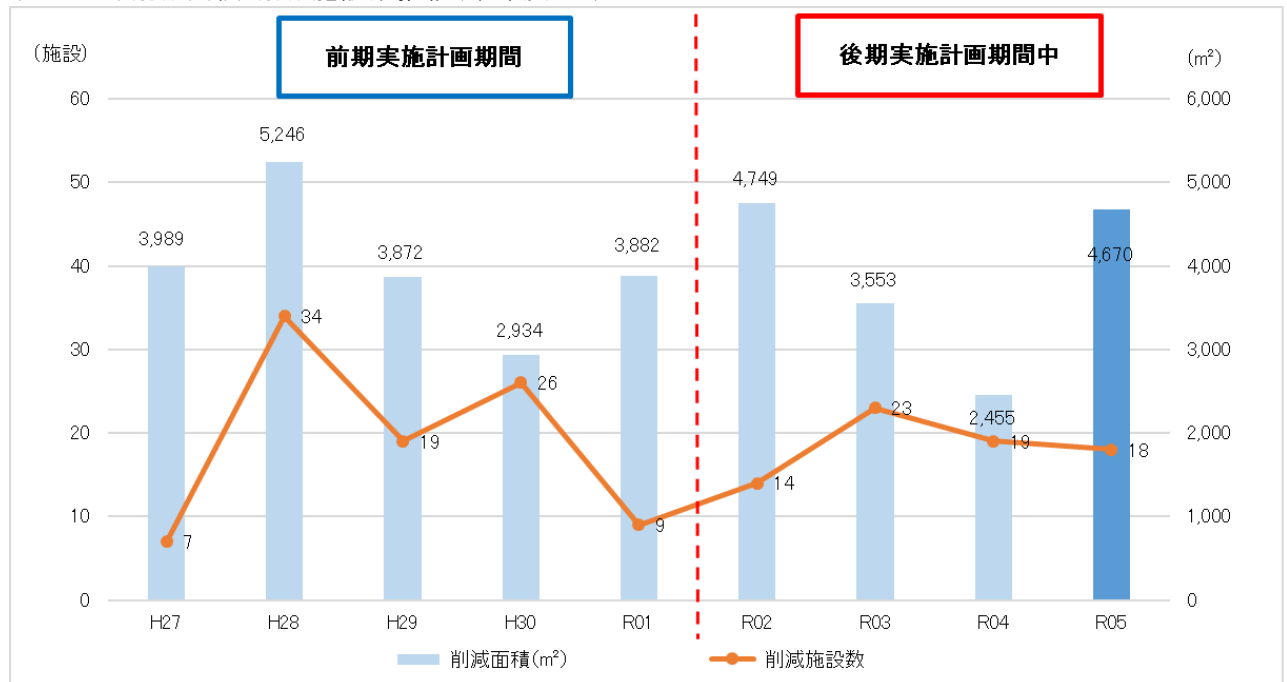
		H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
単年度	削減施設数	7	34	19	26	9	14	23	19	18
	削減面積（㎡）	3,989	5,246	3,872	2,934	3,882	4,749	3,553	2,455	4,670
	削減効果額（百万円）	1,383	1,889	1,329	808	1,157	1,470	1,327	761	1,364
	貸付面積	39	0	400	989	2,786	158	10,437	3,154	4,376
累計	削減施設数	7	41	60	86	95	109	132	151	169
	削減面積（㎡）	3,989	9,235	13,107	16,041	19,923	24,672	28,225	30,680	35,350
	削減効果額（百万円）	1,383	3,272	4,601	5,409	6,566	8,036	9,363	10,124	11,488
	貸付面積込み	4,028	9,274	13,546	17,469	24,137	29,044	43,034	48,643	57,689
達成率	削減面積（目標：101,800㎡）	3.9%	9.1%	12.9%	15.8%	19.6%	24.2%	27.7%	30.1%	34.7%
	削減効果額（目標：約292億）	4.7%	11.2%	15.8%	18.5%	22.5%	27.5%	32.1%	34.7%	39.4%
	貸付面積込み	4.0%	9.1%	13.3%	17.2%	23.7%	28.5%	42.3%	47.8%	56.7%

※除却等、延床面積の削減につながる実績のみ計上しています。

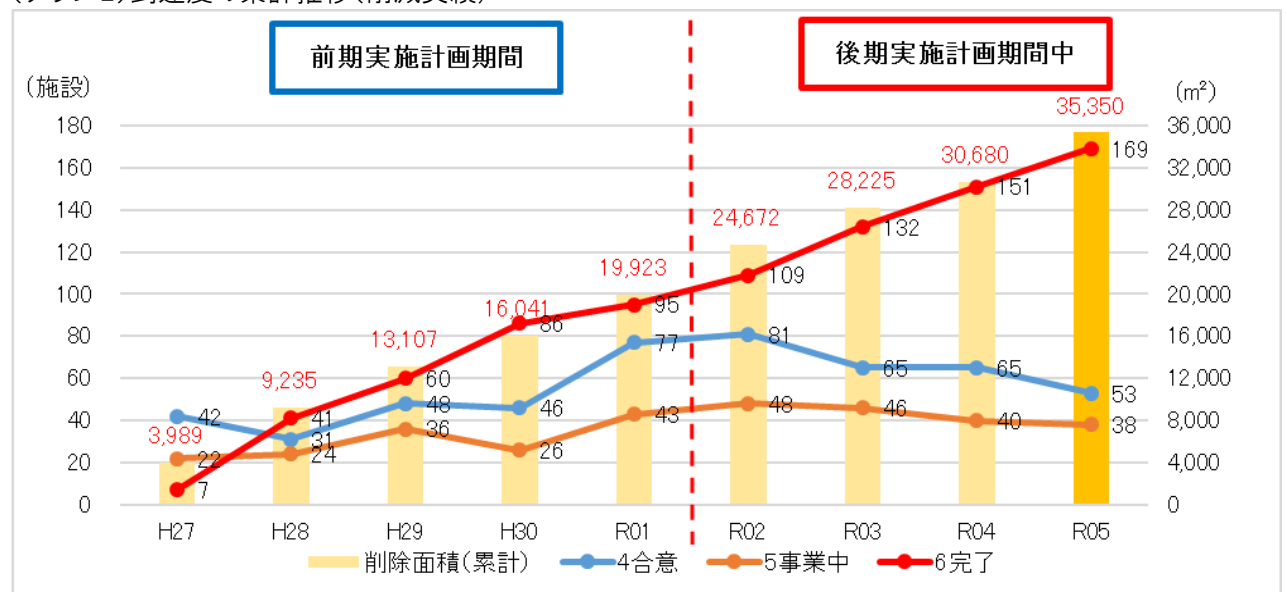
※貸付を行った面積については削減実績に含めていませんが、貸付を行うことで維持管理費の削減等、財政効果が見込めるため、貸付を行った面積を加味した場合についても記載しています。

◆金額は千円未満の端数処理の関係で本表上の計算と合わない場合があります。

(グラフ 1)削減面積・削減施設数推移(単年度ごと)



(グラフ 2)到達度の累計推移(削減実績)



福知山市は公共施設マネジメントを地域価値の向上を図る計画となるよう内容を高め、市民の皆様と一緒に、ふるさと福知山を持続可能で発展性のあるまちにできるよう、さらに新時代福知山を力強く前進させて参ります。



◆ 発行・編集 ◆

福知山市財務部資産活用課
〒620-8501
京都府福知山市字内記 13 番地の 1
Tel:0773-24-7038
Mail:shisan@city.fukuchiyama.lg.jp